

本朝畫傳

名畫自石舟之

九百七十一

卷二傳紀

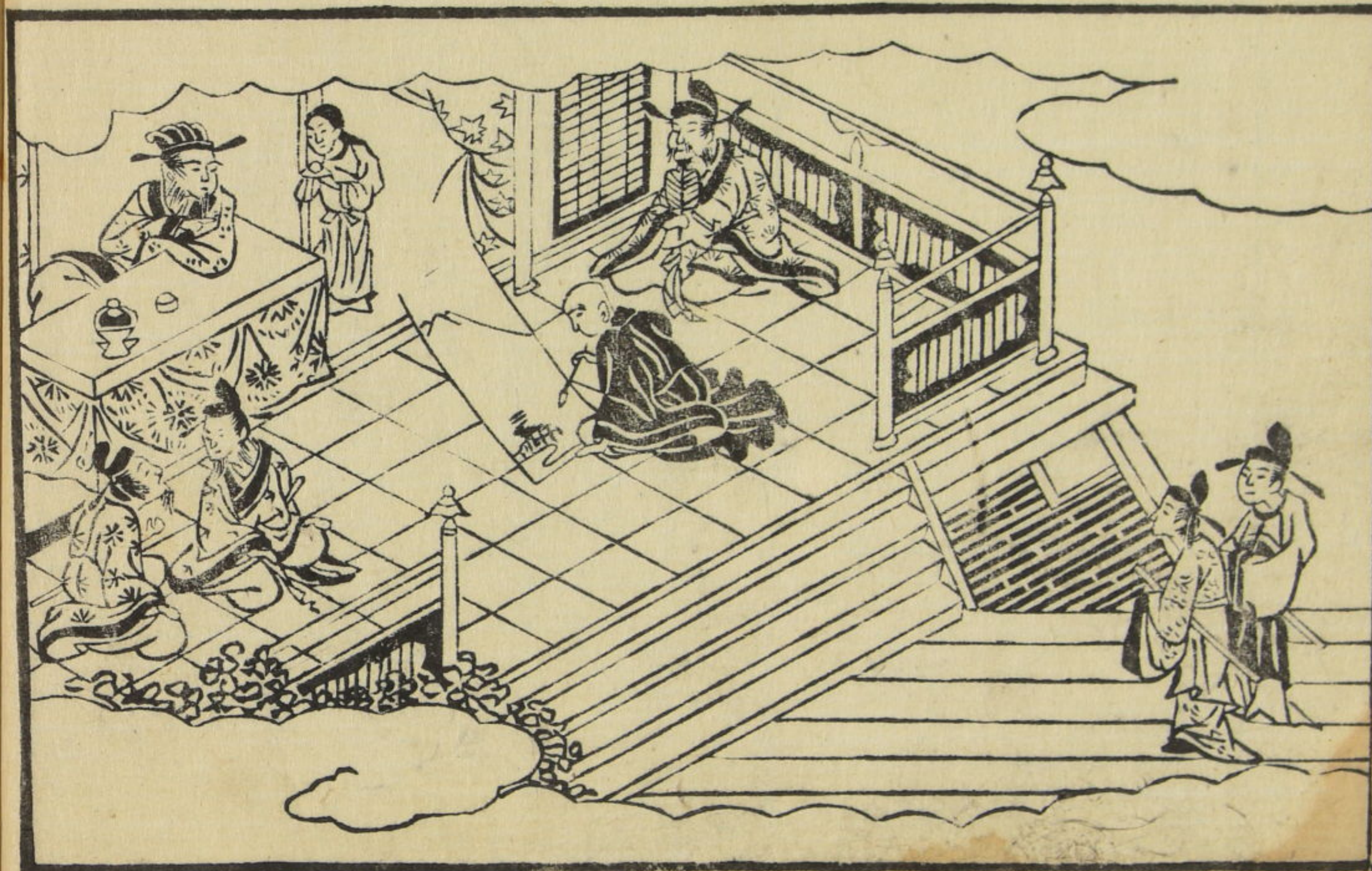
中

全書



寛正年中み大時お海り口時
勢おより第一座とあらぬ
登後おおわく四時天皇第一座
とくけり又の杖薬は東陽を揚と係
す大時おより一冊中書乃邦城
能登の人の推とらせるといひ
乃日を世能登をいふとが
すおんはく孝氏と長氏とけ入
とておとさひありとらふ
登とらおとさく云然とて
おあそがゆきとらふ一登
かんがえあり今二氏乃登後とる
原とらあおとら大時お中時
まはる人ありとらふおとら
名後乃地山川とらふ乃登
我原あり原の我おありとらふ

あらず豈地ふりとらふや
いよくとらげとらふとらふ
長たふとらとらふとらふ
けく礼部院乃登おとらふ
勢乃らふおとらふとらふ
おとらふとらふとらふ
外大時おとらふとらふ
後乃らふとらふとらふ
居す故おとらふとらふ
不乃とらふとらふとらふ
るおとらふとらふとらふ
おとらふとらふとらふ
てとらふとらふとらふ



人相半もふおしくいそは一器
 てねどあすけは法書あふり
 まは常あまといれそ冊

まゝなるもれなり後力精活揚
 くろくしと終乃あせ好らぐとく
 後長振舞乃奇おそれた後長
 後中とくそ能ふかろくはそり
 又中徳あり後列乃家中小書
 身乃益徳あり身小九條と志
 一乃小為物中とつとささり
 後長と終す秋月が終すとる
 あり並小自益中乃の徳あり
 益後小書毎秋月小附ととや
 ありそ外又種とふこれと別徳
 小死と別号後陽備陽揚知
 あり名揚 夫高 揚主座大
 昭ふ入と益の事ととそび長と
 終と師とす終永とと年庚子
 後生とと永正三年 丙寅 八十七歳

辛と

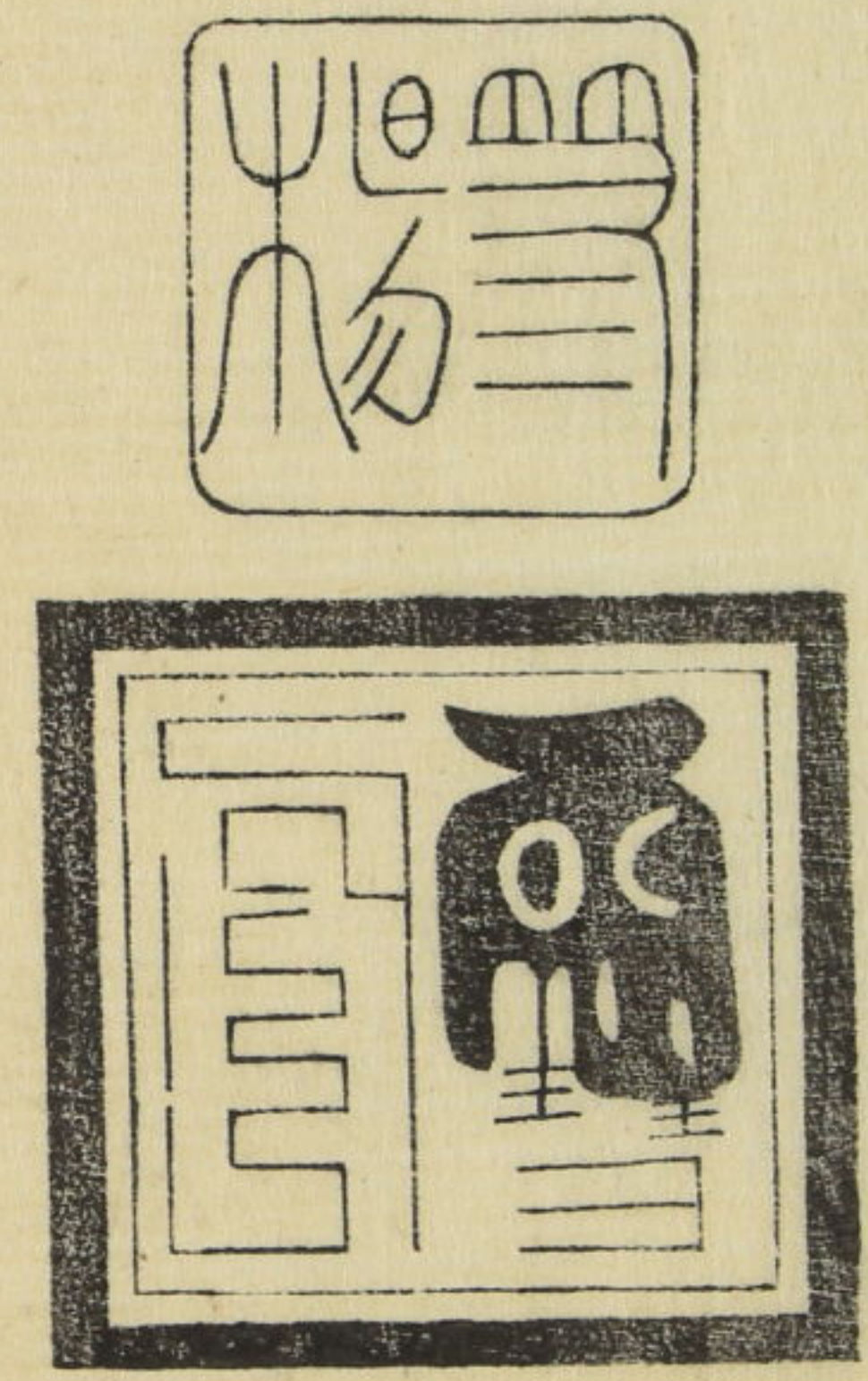
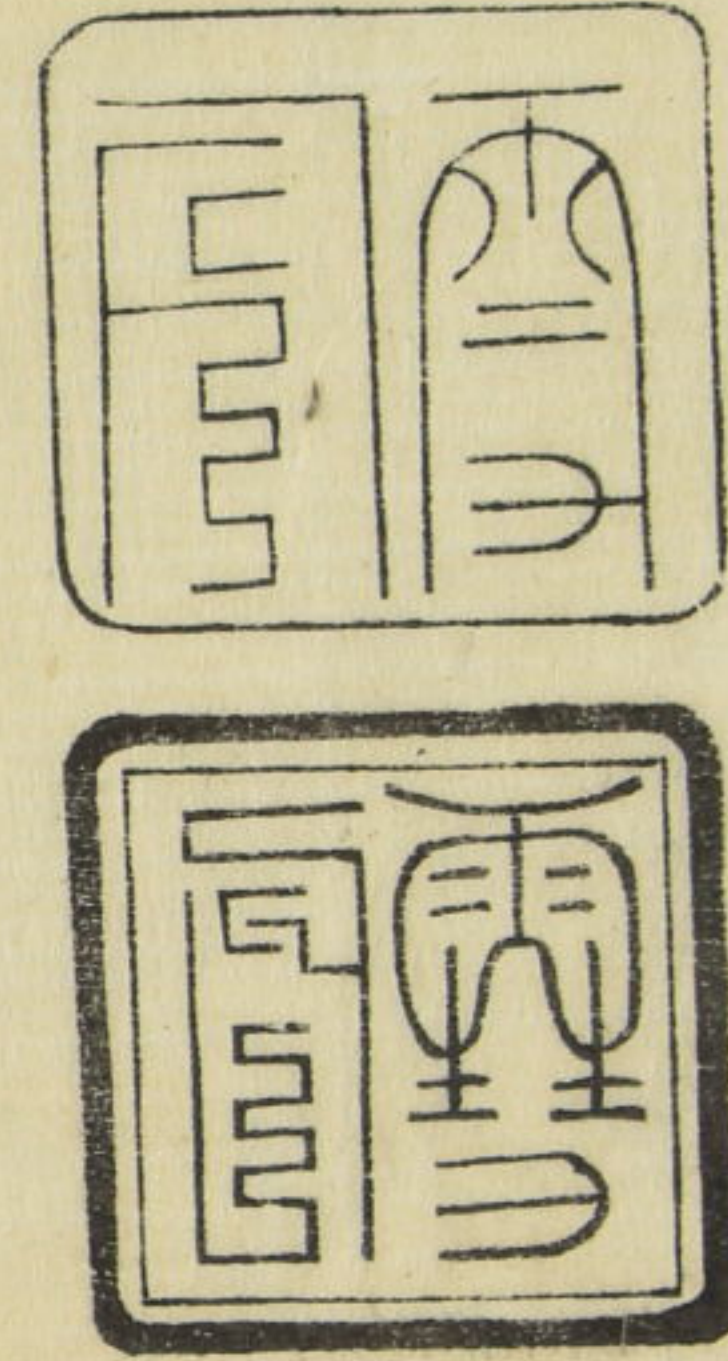
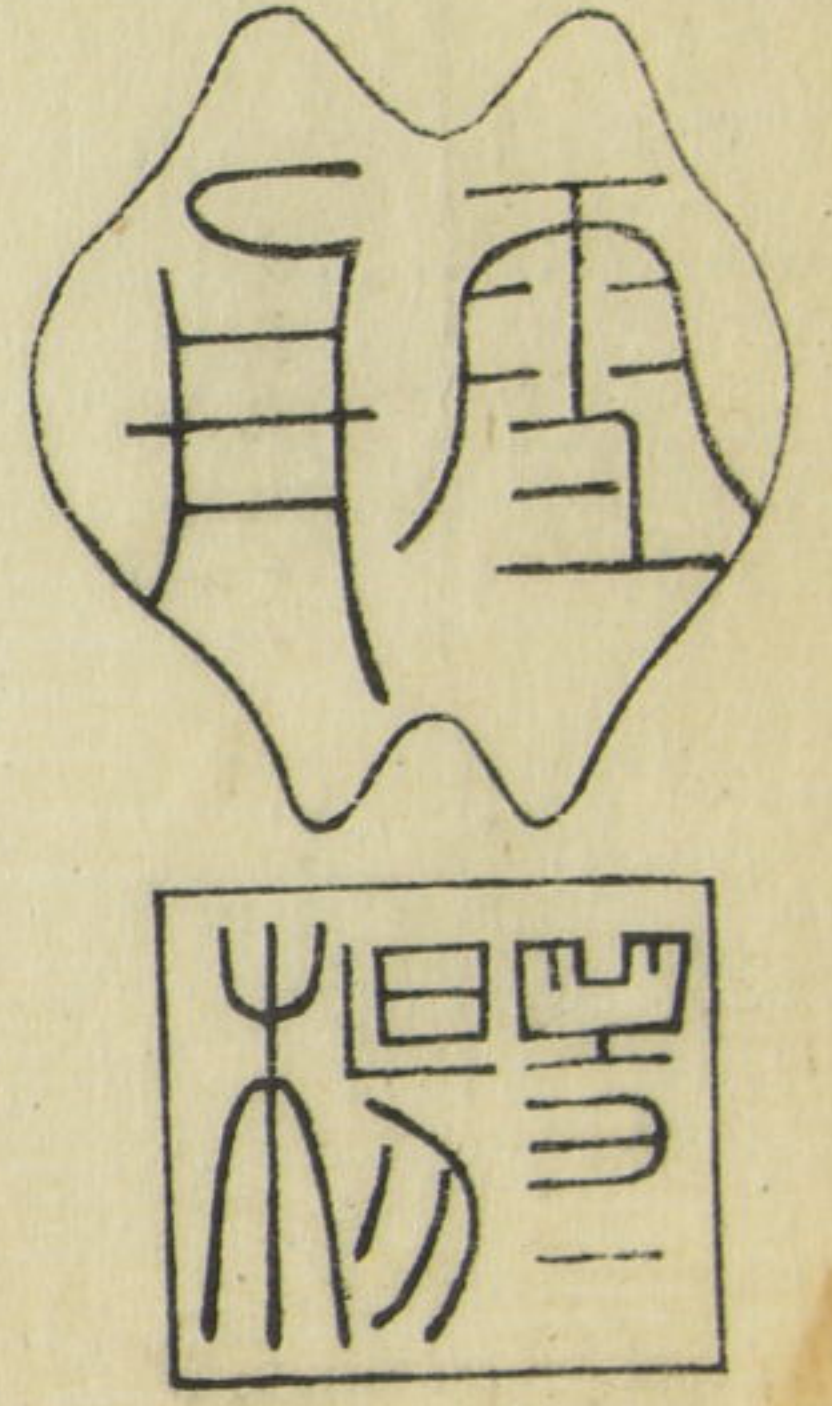
後長雪舟



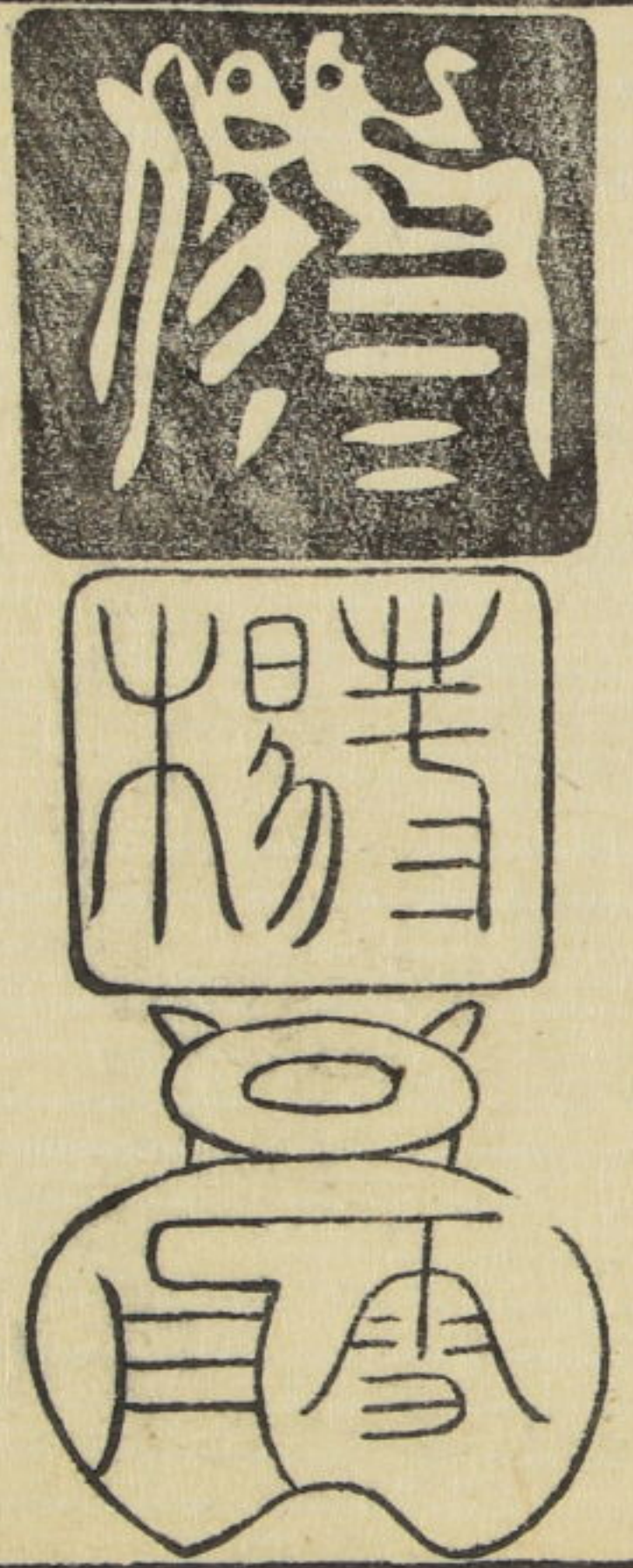
行年五歳



本館藏書
...



佛觀...



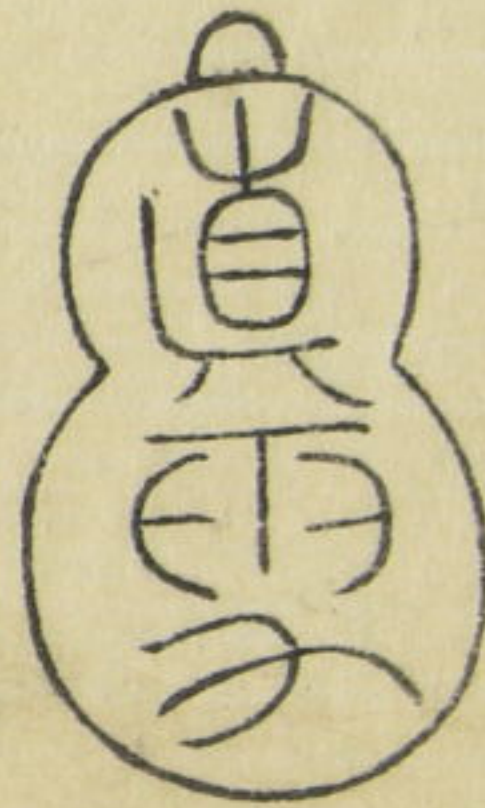
大唐揚子江心

金龍游淨之

面

...

雪舟由史畫



明以寧波府

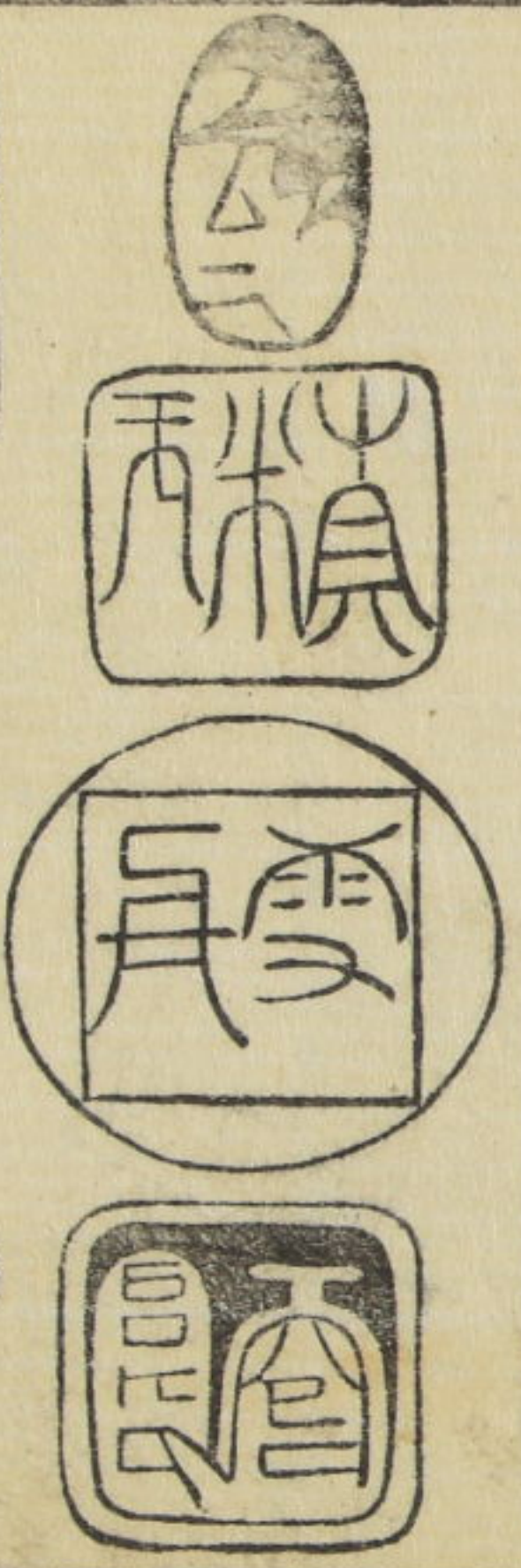
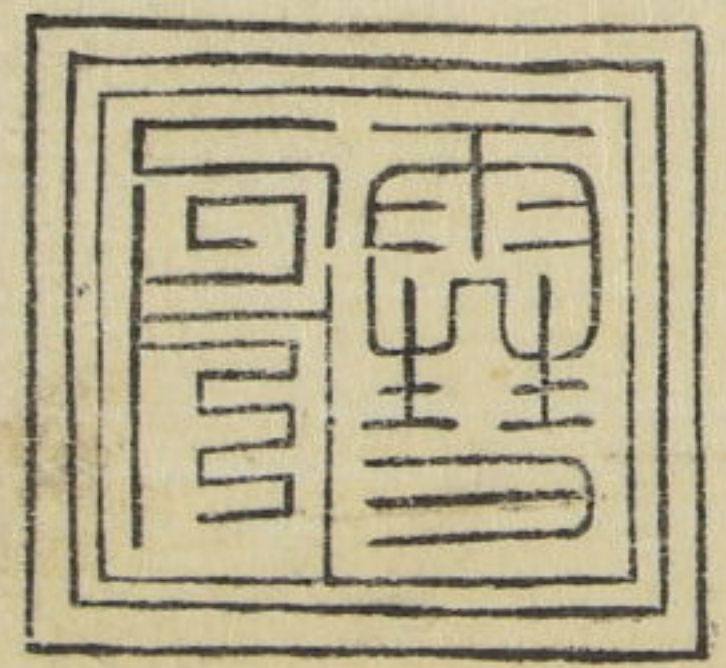
之月育王山之畫也

文明四年

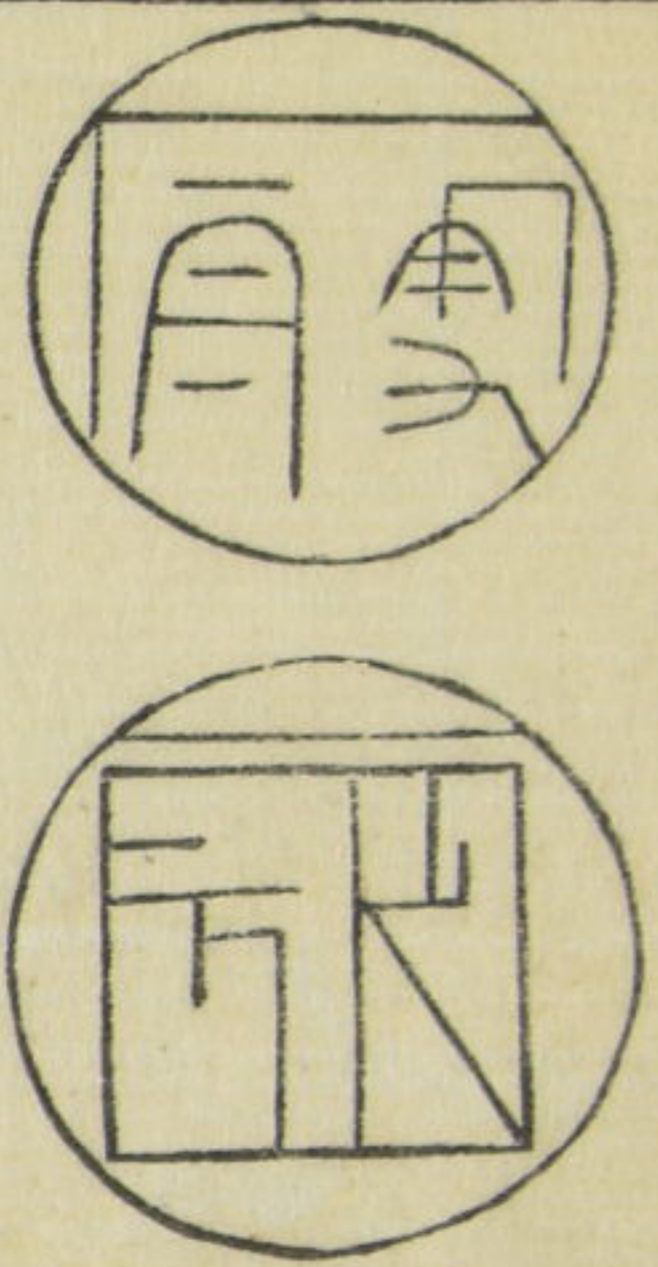
壬辰之秋

雪舟由史畫

右四字以印之
二三三

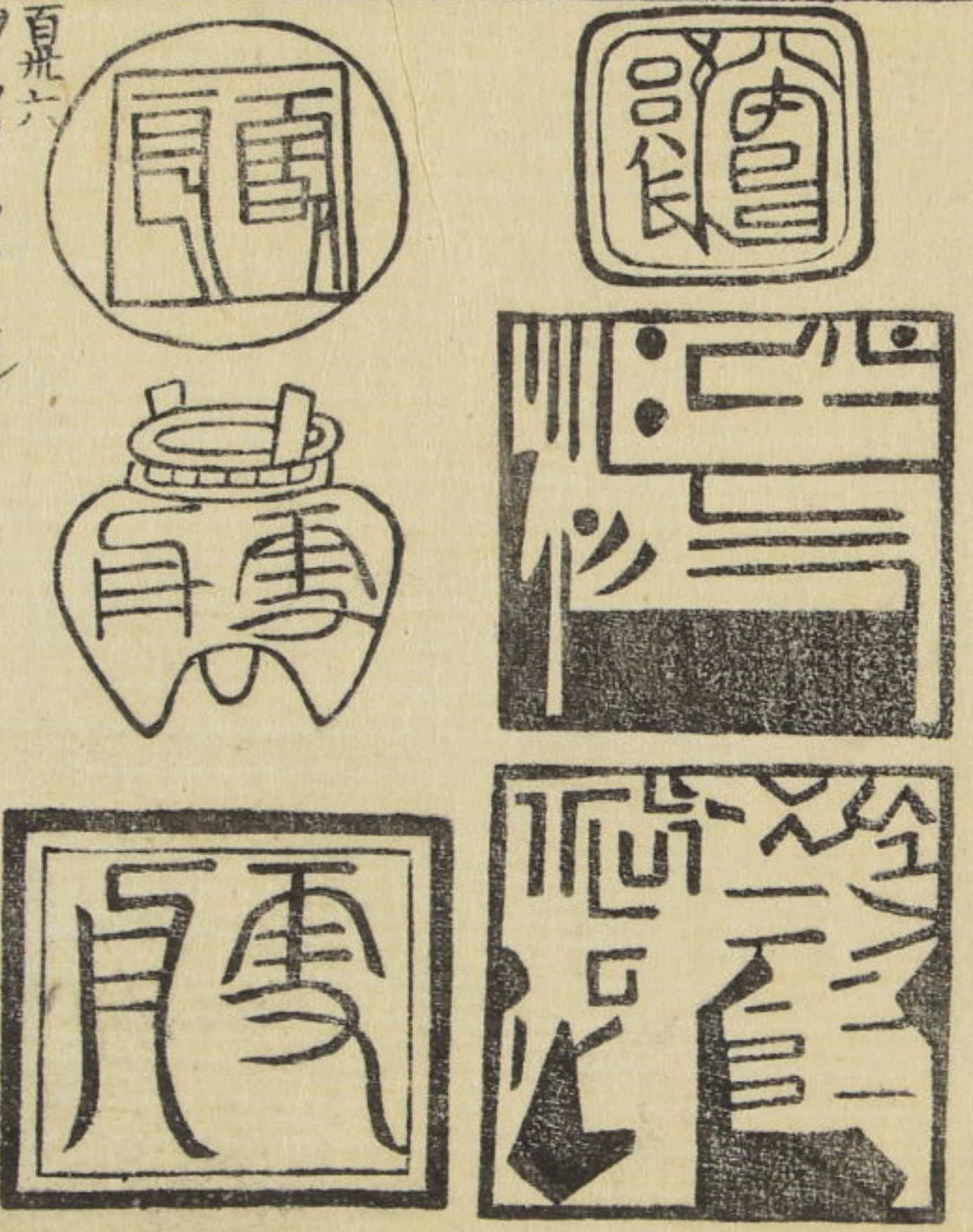
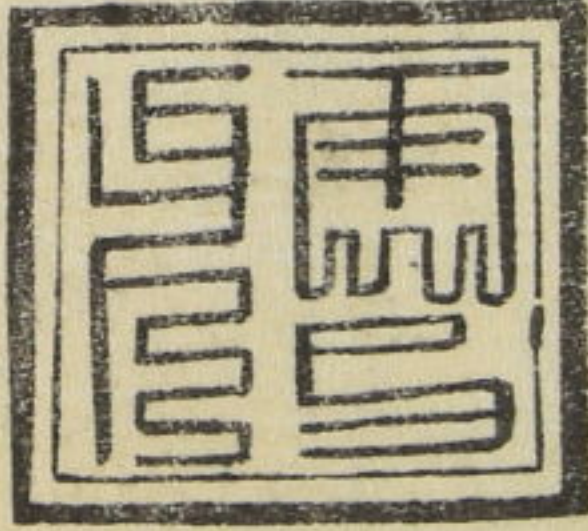
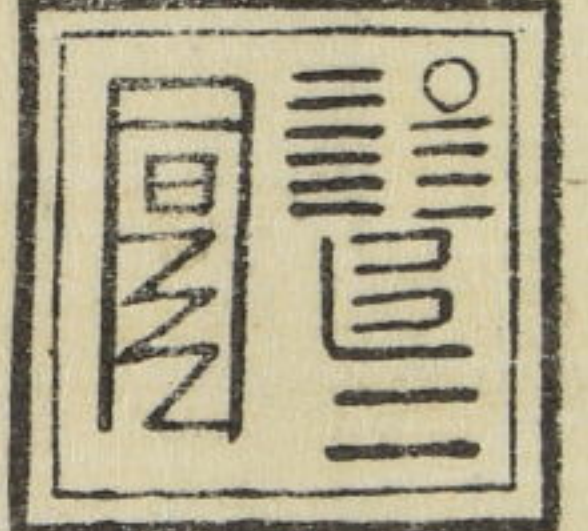
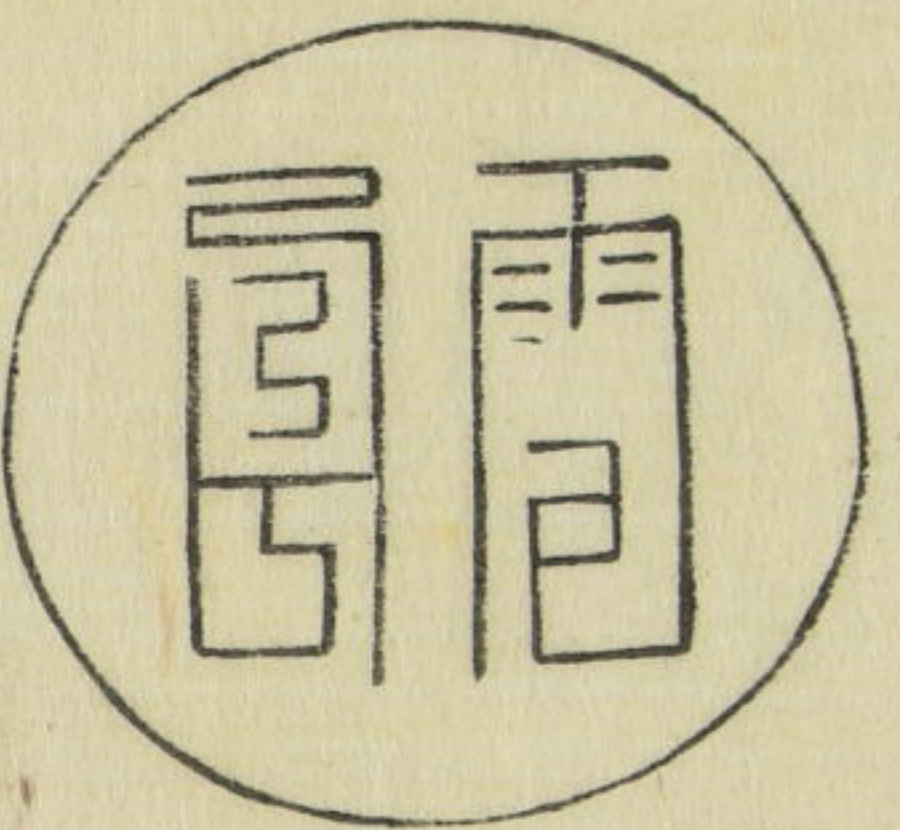


雪舟由史畫



宗丹

以三字
九字
と二三



小栗宗丹

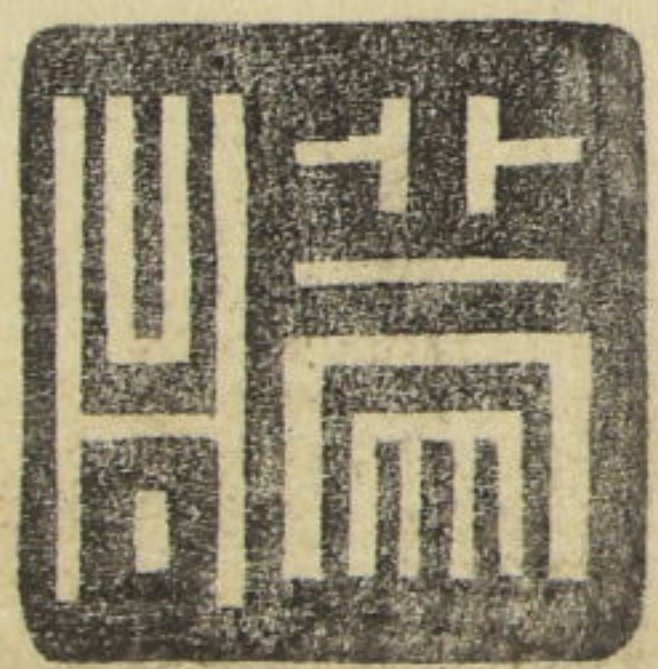
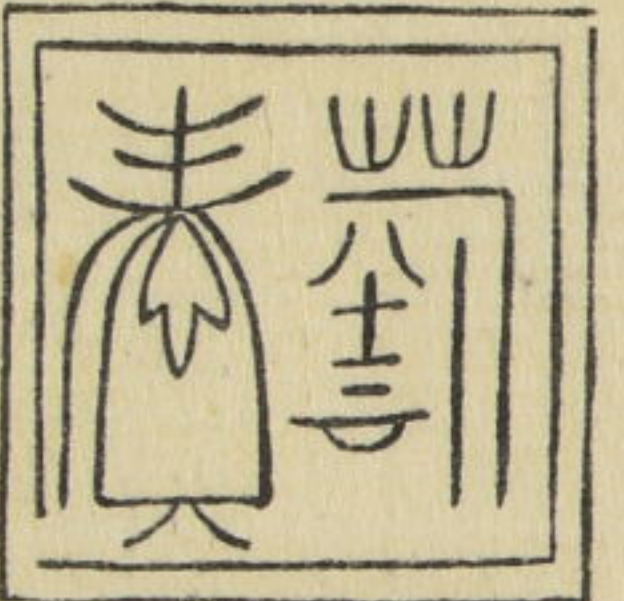
宗丹

宗丹と云ふは月夜と作す一
一宗と云ふは宗丹と作す一
宗丹と云ふは宗丹と作す一
宗丹と云ふは宗丹と作す一
宗丹と云ふは宗丹と作す一
宗丹と云ふは宗丹と作す一

志まじり宗丹或いは年小大運吉
小辰す故小季松多め一とり
宗丹別号と季松和尙小と
和尙松のつくもを乃神妙ハ
牧溪乃筆法小法と一これ小
ゆき自溪と稱す自牧季松
小松とくも乃温湯小松す一
目何は地堂小とりの角と山
中乃風景とすすゆらお妙手
とて松せし宗丹特小山の
小本す系中乃雲煙林泉の
かへ天賦乃藝ありそ山あり筆
を牧溪玉洞乃二法と名ひ又
種言を紙とつる筆法用とす月
文よりもつる山の雪舟よりもや
りか多り人相の筆法めらるる

ライラク
る精粗あり又和意と書あり
物引とてこそ運筆乃れ
世小移ありやいかに宗丹の
藝乃も妙小ありとるゆ今
乃人志るに及ぶるる見はけと
別傳小と我教と乃意原生國
ハ丹波小えかえ乃人永享年中

宗丹印文



宗体

宗丹

宗丹

本朝御記

洞去セ 宗丹ノ事也又田用多ク
ミヨリ 俗姓ハ古波ノ氏族トアリ
吾法山有人相談教乃登ハハ
カキテ 風ト云フリト云

小栗宗八 是或ハ宗丹ノ子ト云
儀詳クアリ 本傳小栗宗丹
子又お國志ハ後ト云リト云
んハ登ハ 厨多ク法ト坊リト云
後ハ 同波ト云 又法教ト云
ト云カキテ 後ハ 胡人ト云
宗丹ノ事ト云 宗安忠ト云
後小栗安忠ト云 小栗ト云
長列乃人ト云 波地ト云 宗栗ト云
後ト云 一ト云リト云 故ト云
地ト云 後ト云 又ト云 大津



ちの寓居せりそれうゝいあり
不乃後地地ありりーと
標之屋九百廿 妻月九屋小入く公係と
あぐくぬふちり

櫟之屋
印文

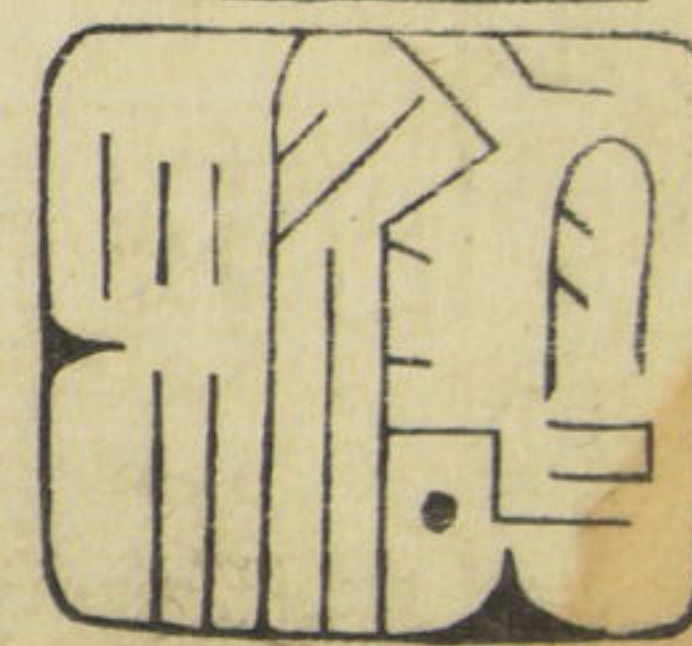
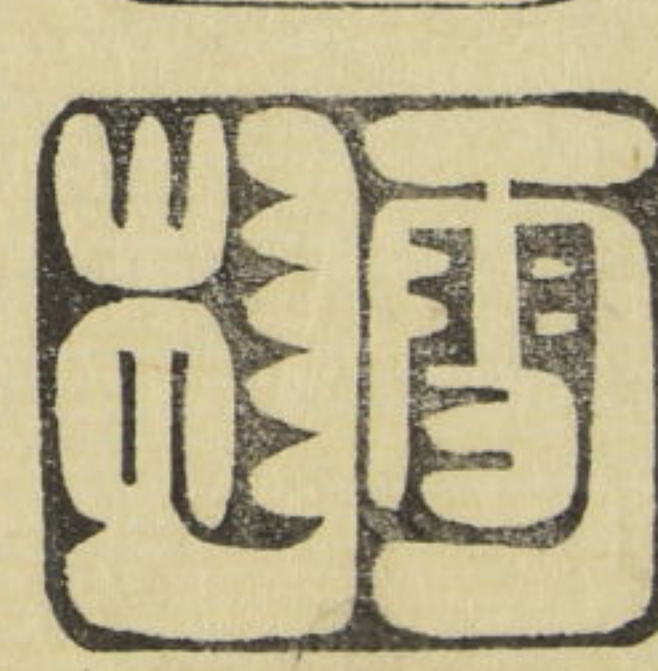
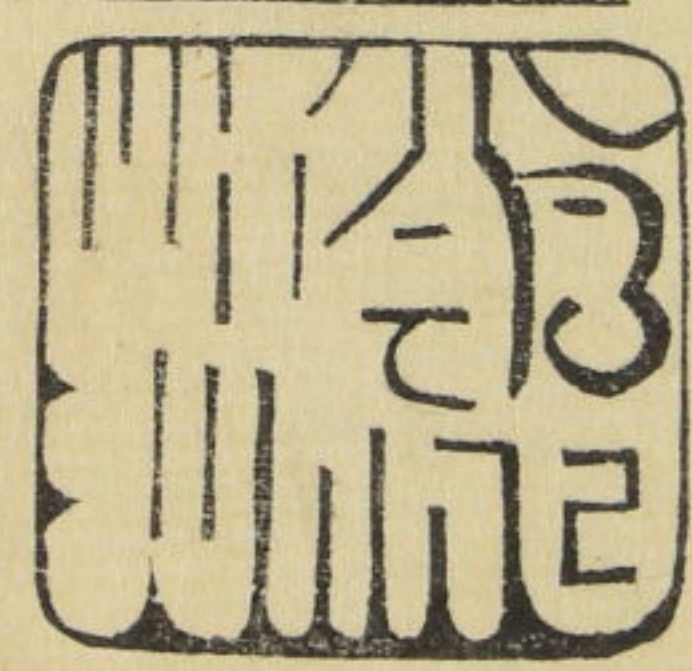
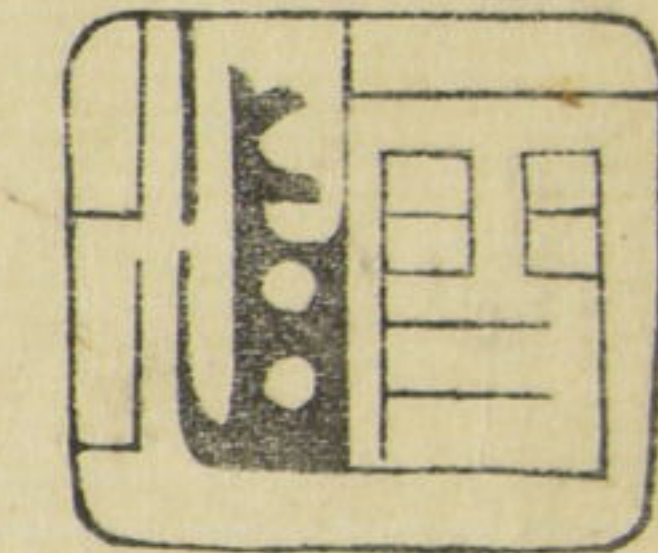
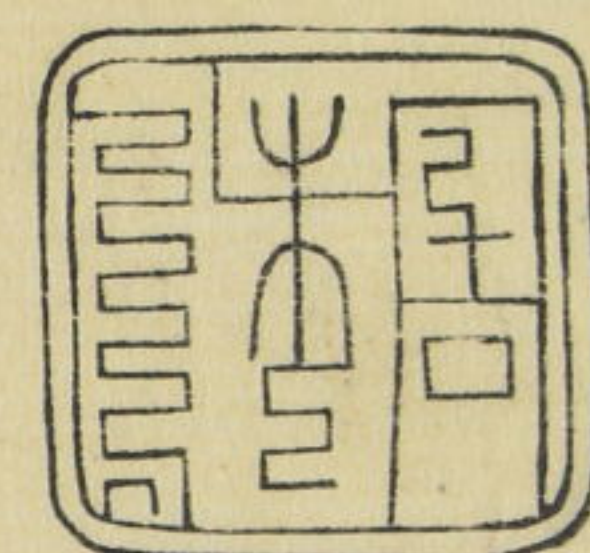
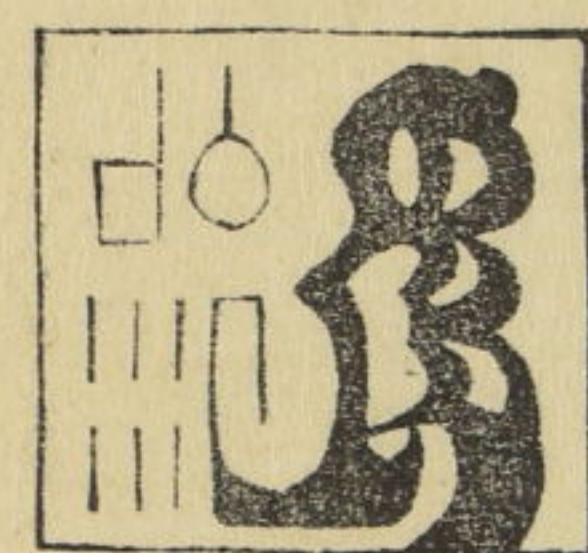
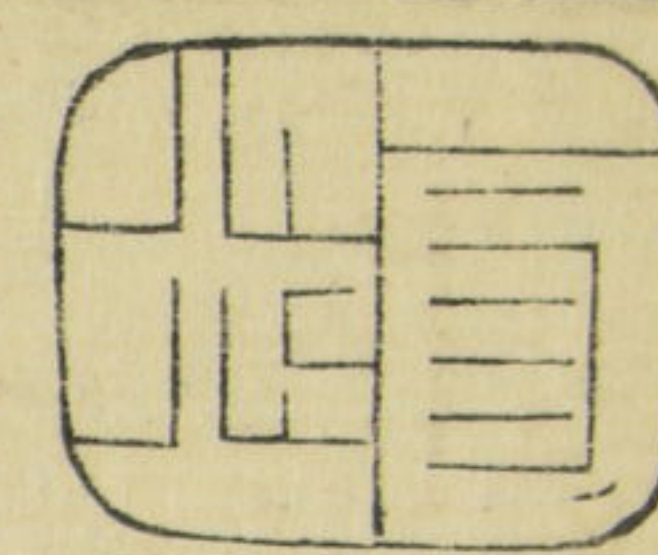
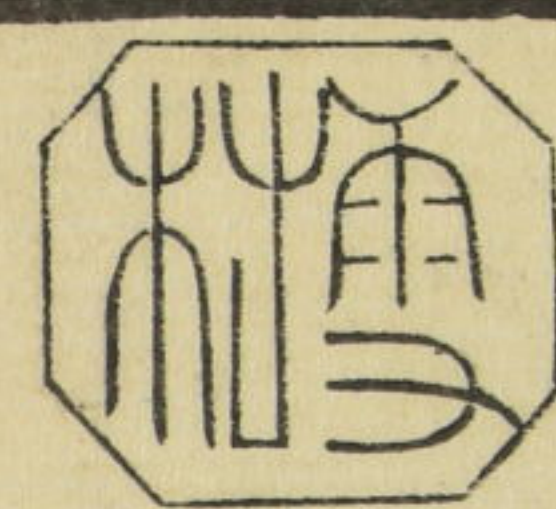
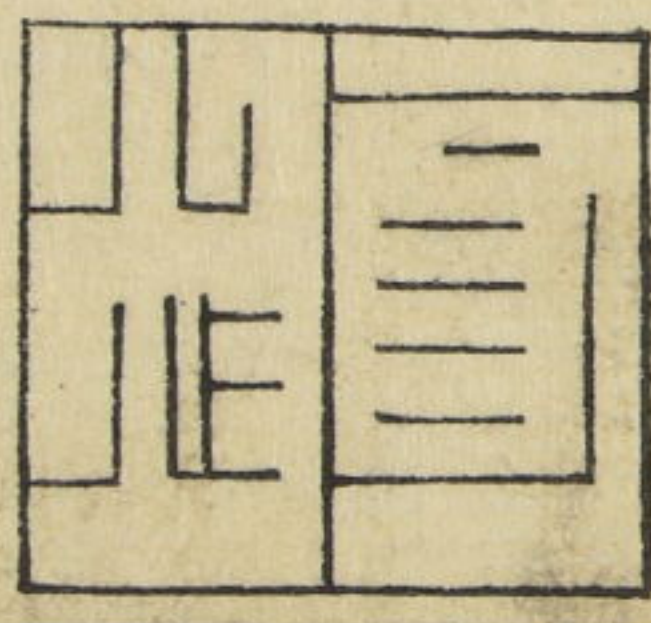
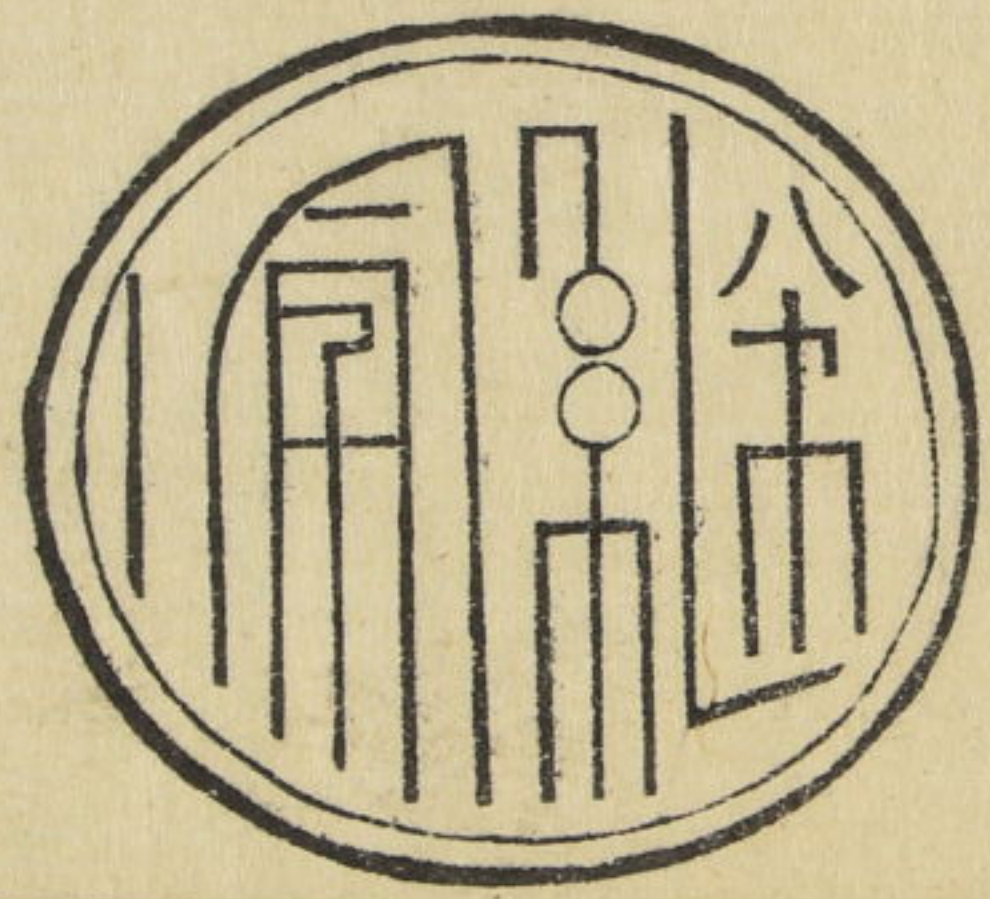
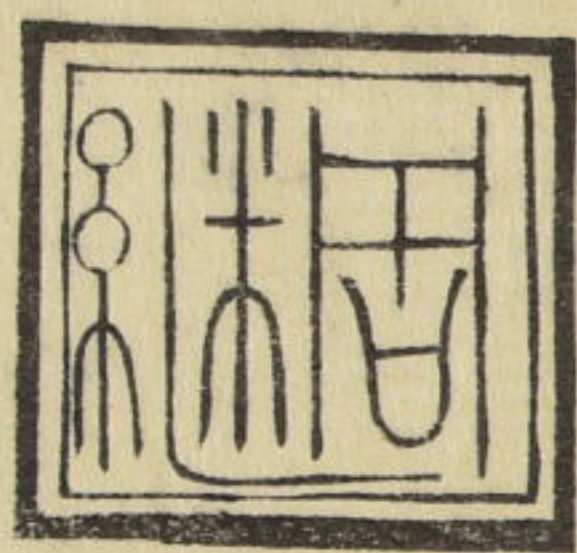
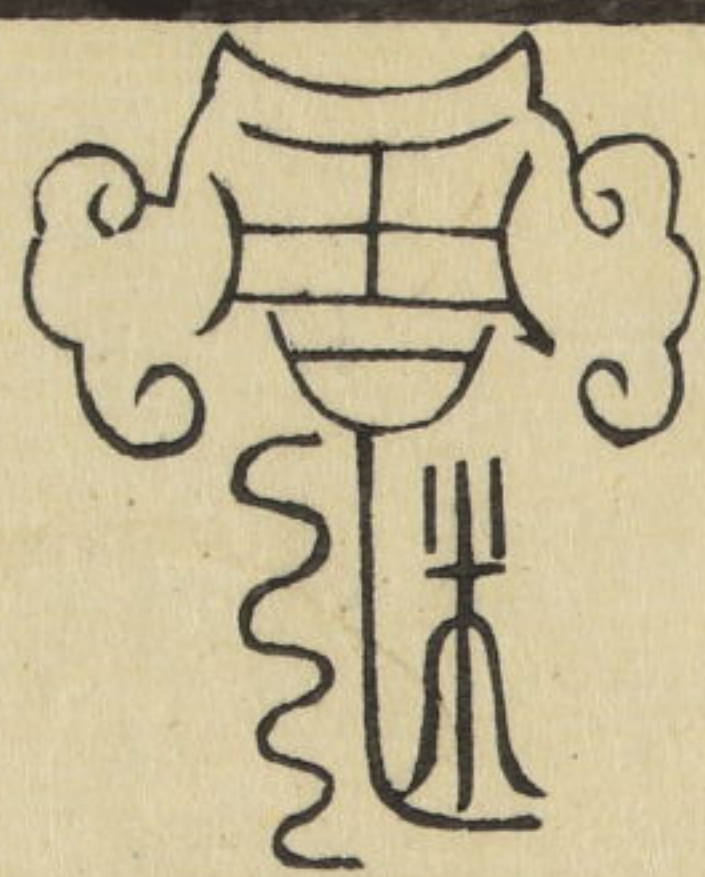
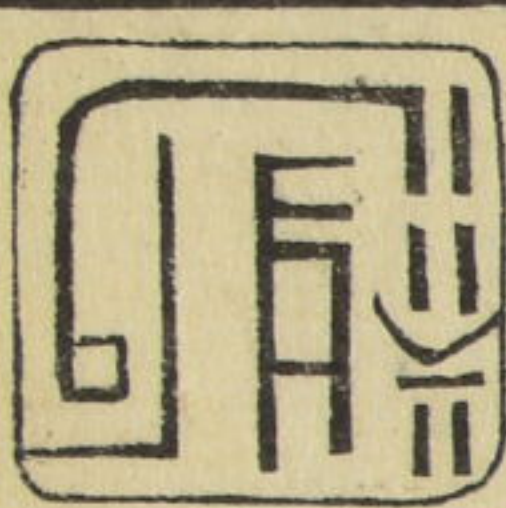
櫟屋

妻佐平 妻月乃後所今めりり
子孫系ふあり
等妻四 姓氏とあすす値あのを
むし周み使列めり一附一の
量ありく天性とくあぐぬ
とるりも量る乃一脚とあぐ
あぐけり周みんくも故とあぐ
まぐいりく際も又量法とあぐぬ
めん是約るのいしほひこも妙

とくふさありと云周み是とあぐ
て奇ありとす又周み小娘とあぐ
際ふあり量法とあぐぬ
を故とあぐりも量これとあぐ
とては周みか妙も又とあぐ
等揚る所とあぐぬとあぐぬ

並小たも小あせり
備雪村四 津い周継又給松を
孫と号す依竹乃一族常列
新番乃村回乃今も故とあぐ
傍とあり天性とあぐぬもあぐ
法とあぐぬとあぐぬのあぐ
弱と或い云もあぐぬのあぐ
雪村のあぐぬありのあぐぬ
侶とあぐぬとあぐぬのあぐ
あぐぬあぐぬすあぐぬのあぐぬ

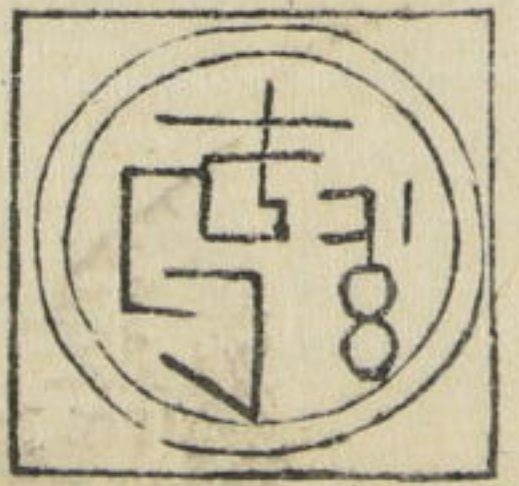
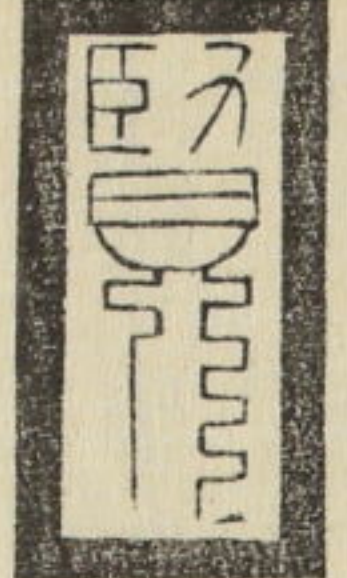
古金文



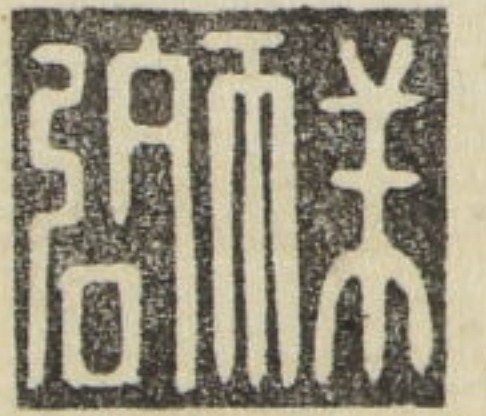
古金文

墨書の牧溪とものびを信月
 ぬしりぬしり仏像人物山あり
 ようし難畫ふことあり早
 林集ふに殿書記活潑ふ入畫
 師藝何れをもよくとるべき
 ありと賞しはぬべきなりその
 遠小のうら平目秘とる所乃畫中
 と料とれぬとあふ様とひ故とて
 筆勢まじくことあり宋乃末
 小段海川と云ふれ各畫と稱せり
 牧溪常ふにこれとてはあふ今
 別とれぬとありありとてはあふ
 藝何れもよくとるべきなり
 とあふと書記ふ附とす書記
 杯まじく岩帷背小つてはあふ
 活とてめり後拍原院ふ無年

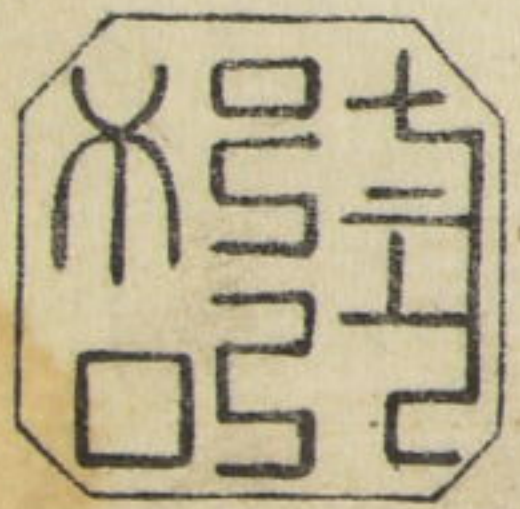
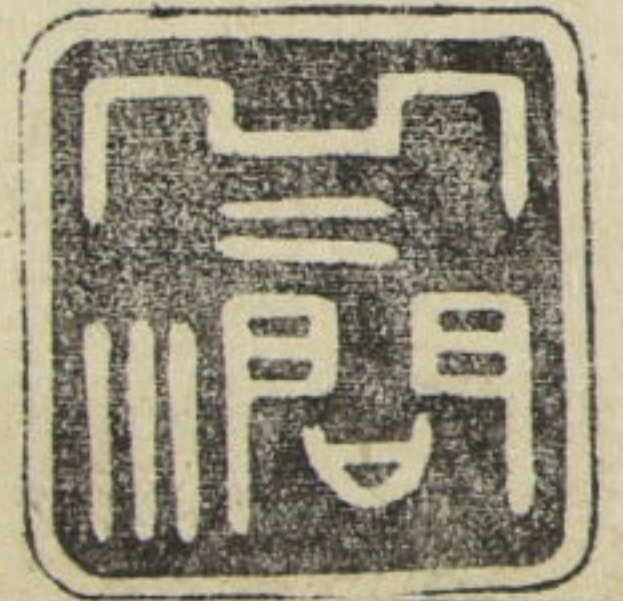
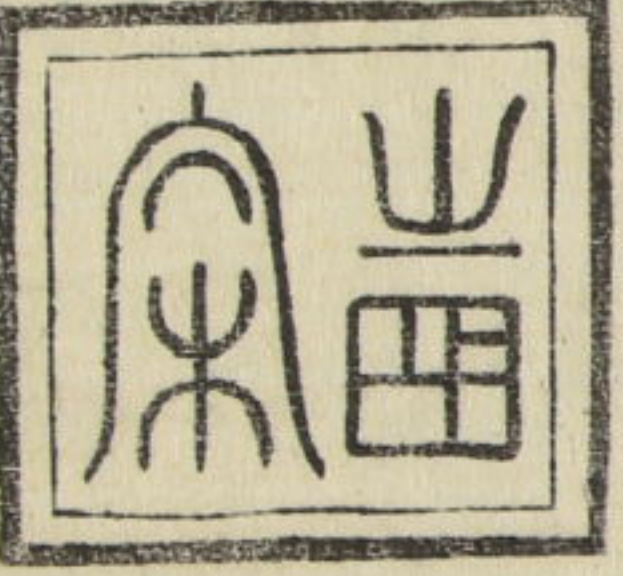
中乃人たあり



傳月舟



名之舟





急云居士百 姓氏と伴ふ事
 つく 親善は徳と云ふく 若惟
 宵ふも 契似瓜くさめく
 早寐集ふ 載ゆり 伝魚いも舟
 とまひく 物あり 合号が 義信ふ
 急云坊 賢美と いうる 志あり 又
 別人と云へ

其登首座百 一 貞祐院乃 厄あり

急云乃 墨威みよとくろく
 親く 小舟 神若 施測 神若乃
 井 宮城 志んく 縁付 志んく
 若惟 宵 契似 瓜く 上ふく
 東海 渡 志集 小なり
 山士 志乃 中子 ちり 万壽 志乃
 信や あり 信云 子と 号一 或い 志
 寒邊 民と 杯す 晝法 的 信云
 志乃
 信朴 堂五 律ハ 社淳 建仁 志
 雲 庵乃 信あり 常 小 不 知と 志
 ぐ ひろく 世ふく 志乃
 信子 達 面 堂五 岳 お 國も 乃 信 あり
 常 小 丹 志乃 乃 志んく 志んく 志
 信乃 風 紙 志んく 志んく 書 法も 又 志

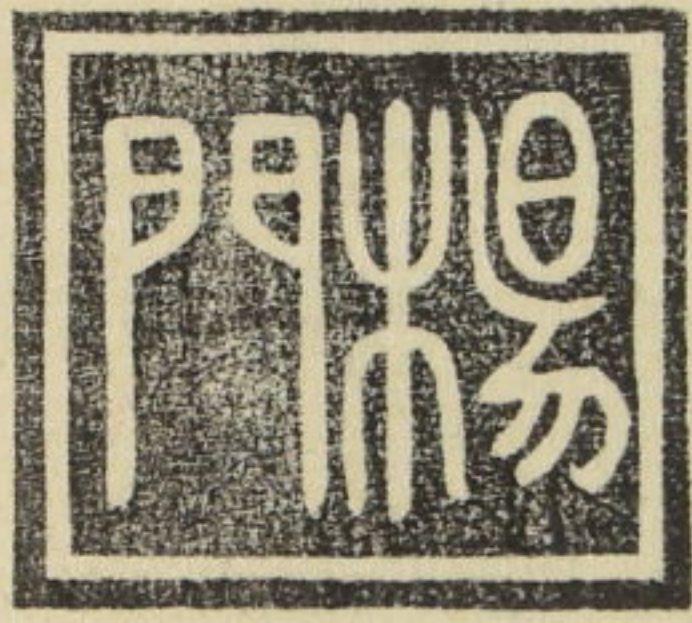
後たり親く自牧と称す又
松尾の号一又尾房と云
別傳小の原西堂と稱す

十世袖自紋

馬舌



揚門ヤウモン百ヒャク 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
車クルマ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
去すク 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ



雲谷ウンコク 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
孫ソン 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
後ノチ 揚門ヤウモン 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
流リウ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ

等顔

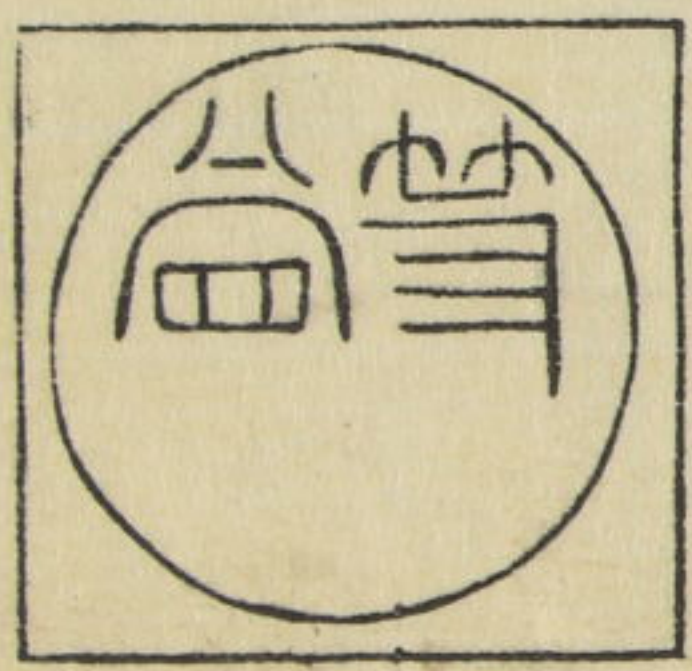
印文



雲谷ウンコク 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
孫ソン 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
法ホウ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
持チ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ

等益印文

称雲谷

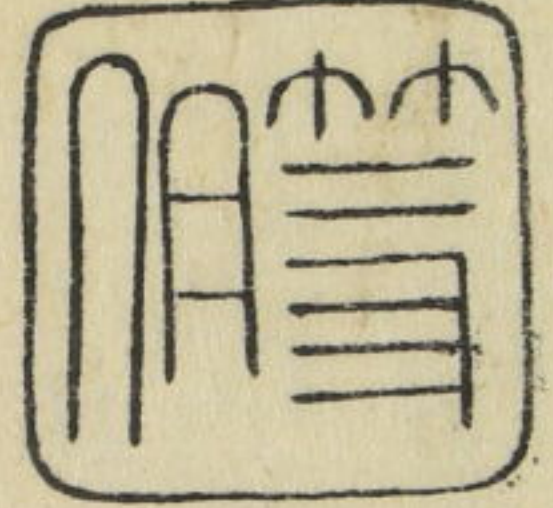


雲ウン 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
法ホウ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
持チ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
又マタ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
云ウン 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
谷コ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ 吾溪ゴケイ
と称す

魚乃服底ありと云ふ又象も乃
風相あり河軍これみふがれ
そま久経家州と失せする凡筆
甚多うかむ舟乃夏極が山
と川を流る流る乃二物とこれと大
物小物とより多伯とれと好く秘
蔵せり別傳小日長谷川乃担
舟より及代えハ永徳門出也乃ら
等伯と好く香舟派とまふふと

長谷川法眼等伯

筆



佐久間伊豫守平朝臣真勝
武運長久息災延命所 母敬白

奉掛
御神前



慶長拾三代 申曆六月吉祥日
自雪舟五代長谷川法眼等伯七十歳筆

長谷川久藏信春百太郎伯が二子あり
 屋敷とあすむ又あすより大抵
 又屋乃法衣とより遊流うくるる
 まめ精意の古法服之信とあふ
 人地多然花草小長す信の奇
 乃機毎小町家長あふ感得乃
 掛絵之信ふこれと板絵とあふ乃
 信女とより信の徳能虎とあふ
 文禄元年壬辰紀前乃名復を小
 しく秀吉の縁敵乃山屋座席の
 乃小形飾乃見事とあふ

久藏信春
印文



長谷川系也六三 篤伯が庶子を遊
 業とせし小す徳も大なる力也

奉掛

御寶前



畫圖之事
信列諷本

休庵敬白

天正壬辰卯月十七日
 長谷川久藏筆



偽鑑員ニハク百ハクカクカクと号すシテ法眼ハク小叙
 すニ或曰ハク廿ニハハク律ハク傍ハク中ハク一ハクくハクもハク好ハク振ハク
 摠ハクちハク乃ハク總ハク持ハク坊ハク必ハク住ハクすハク世ハク小ハク宗ハク良ハク
 法ハク眼ハクとハクとハクりハク墨ハク法ハクハハク用ハク多ハクとハクまハクあハクぶハク
 けハク一ハク人ハク抱ハクのハクもハク宗ハク乃ハク梁ハク措ハクがハク後ハクをハク
 ぬハクめハクりハク筆ハク法ハク細ハクめハクてハク律ハクわハクらハクずハク
 景ハクあハクりハクくハクおハクろハクるハクもハクれハク墨ハク屋ハクハハク法ハク新ハク
 とハクやハクどハクうハクあハクるハクをハクまハクくハク濃ハクくハク淡ハクくハク
 用ハクひハクずハク

偽楊月ニハク幸ハク和ハク玉ハクとハク号ハクとハク廿ハクハハク律ハク列ハク
 乃ハクくハク城ハク有ハク井ハク蓋ハク蓋ハクもハク小ハク居ハクすハク板ハク小ハク
 世ハク小ハク蓋ハク蓋ハク井ハク揚ハク月ハクとハクとハクりハク用ハク多ハクとハクまハクあハクぶハク
 身ハク衣ハク師ハクとハク一ハク筆ハク後ハクハハク牧ハク法ハクとハクまハクあハクぶハク
 よハクくハク山ハクあハクりハク抱ハクのハクもハク宗ハク乃ハク梁ハク措ハクがハク後ハクをハク
 大ハクめハクとハクとハク粗ハクめハクりハク法ハクハハク又ハク柔ハク潤ハクのハク
 結ハクありハク不ハクあハクるハク偽ハク楊ハク月ハク又ハク和ハク玉ハクとハク

楊月 印文



釋揚月筆

張鶴雲



本草集解 中

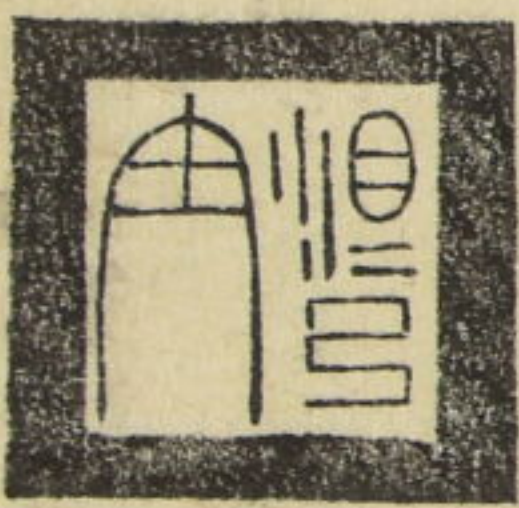
才ト子



僧宗淵百字ハ如お陽乃信あり
自クシ勲中才ト子トあり
寫舟と師トす兼勢稍細一
山あり彩雲ハ每獨咫尺子星乃
越あり本信ハ云胡若集小曰如
余宗淵様備乃賦云以殷厥
川常牧溪乃感善ハ在乃め
西周乃書舟以空く師ト云余
親貴ト云其年あり其故を極
むるもと師ト一日平ト宜竹乃
宗ト云乃ハ小極る故中ト云

とれと見るハ初信ハ云ハ信乃澤
信和奇乃浦ト云ハれあり小信
三章をよめ證す亦自ク信ト
身不ありを後ハ信ト云ト云
信乃書兼都師ハハ信ト云
胸乃津酒願ハ信ト云ト云
身舟自信ト云ハハ信ト云
小信ト云ハハ信ト云ト云
倉乃信あり不信お陽ハお列
藏主宗淵印文

宗淵印



僧等親百秋月と号す本姓ハ云
城氏世々武門ありて信乃天
守小信ト云ハハ信ト云ト云
書舟と師ト云ハハ信ト云ト云

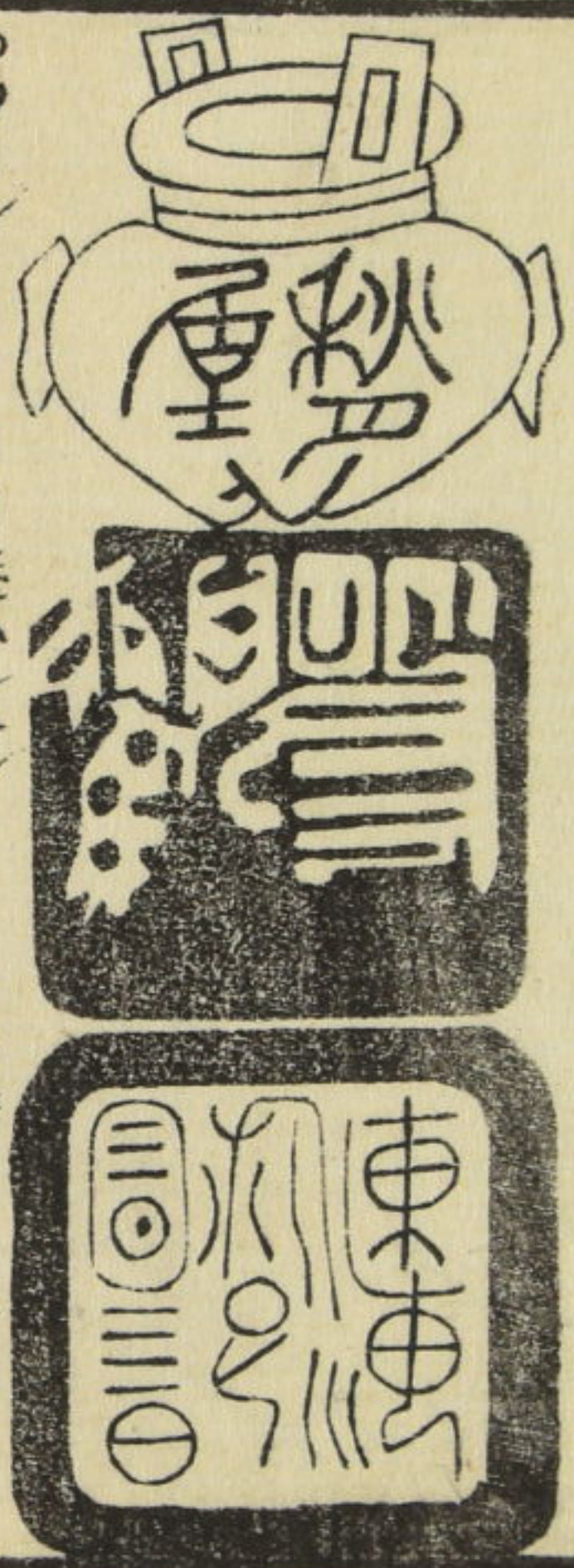
本朝集解 中

今念佛

念佛

念佛

念佛



佛云漢言律支山世姓去破の種族之
叔心族の字とて律寺系法

常舟と名のいふ山あり物花を
とるく作れお似すを書物
皆又文の年号あり

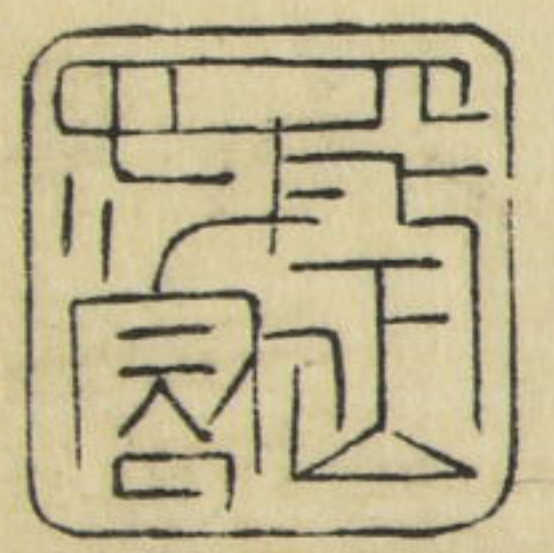
雲溪
印文



等祥
百
常舟とあり

等祥

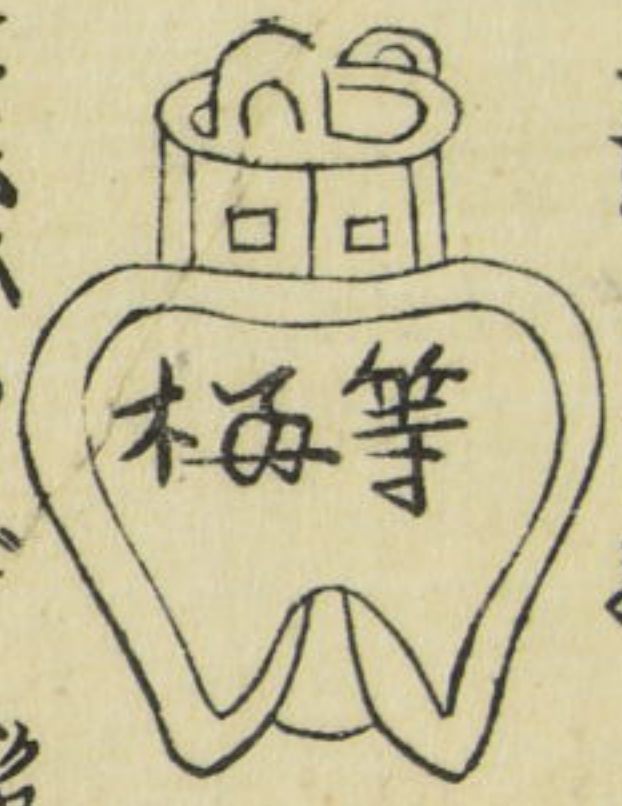
印文



等梅 七五 宮舟とまづりしりく戴
 此種魁乃思とあしく格用
 辨はお似たり信云九列乃人
 乃名かり扱よおむよ後す

等梅

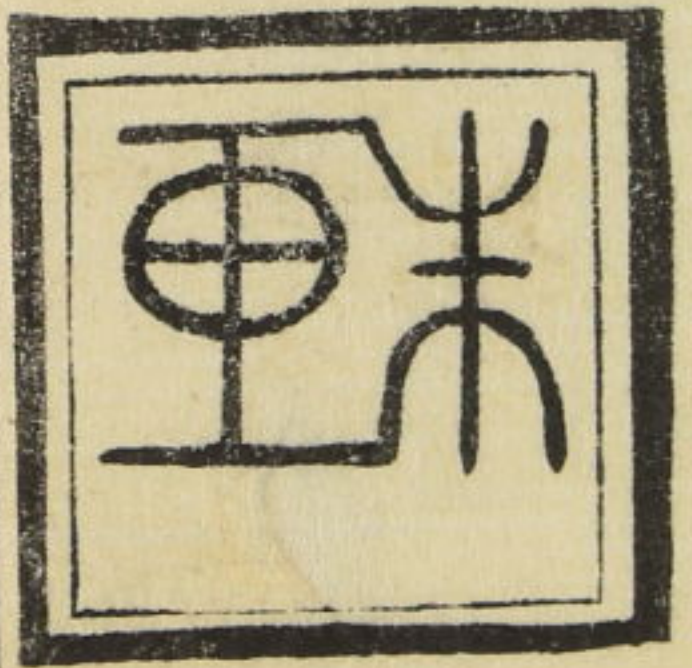
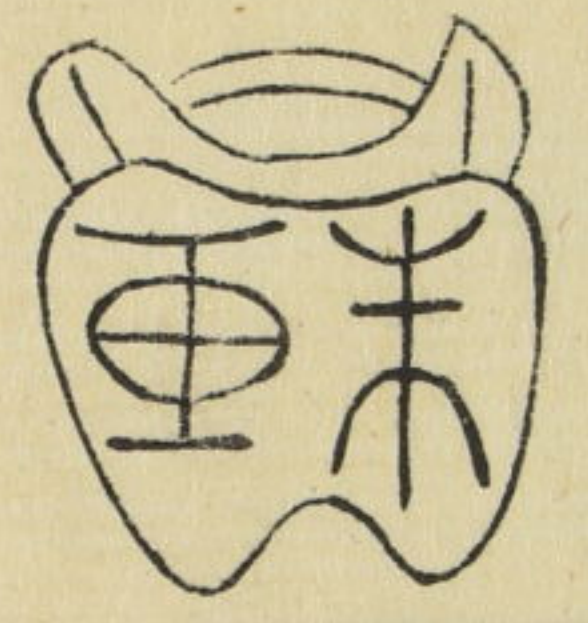
印文



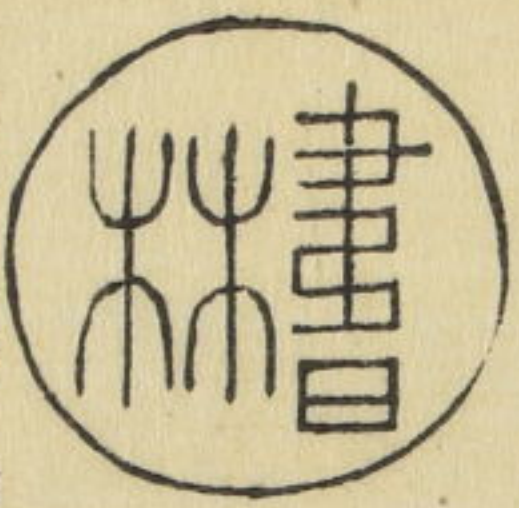
傍照陽矣世姓成志くす意深
 揚とほあふくお似たりる
 此代化あり但一を名認
 又朱玉と稱す

思深

ひまのやとこり



書林 七五 信記不尼



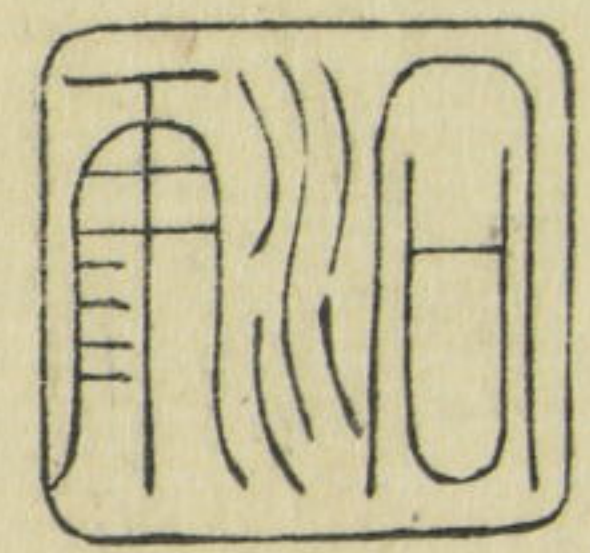
洞雪 七五 奥列田村里とま
 ち何りくく雲花も成忍ぐ又
 半もま磨の像あり



雪舟の風より出り又雪相と云
 名ありて雪舟と云ふは雪舟と云
 するは雪舟と云ふは雪舟と云
 なるは雪舟と云ふは雪舟と云

洞雪

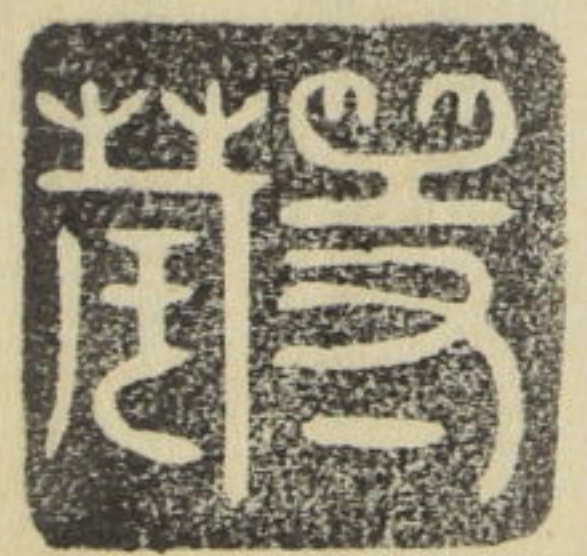
印文



傍考 雪舟 世姓 氏名 未詳 其 列の
 人 雪舟 山 亦 住す 又 亦 亦 亦 亦
 氏 雪舟 氏 未詳 亦 亦 亦 亦
 雪舟 氏 未詳 亦 亦 亦 亦

等歳

印文

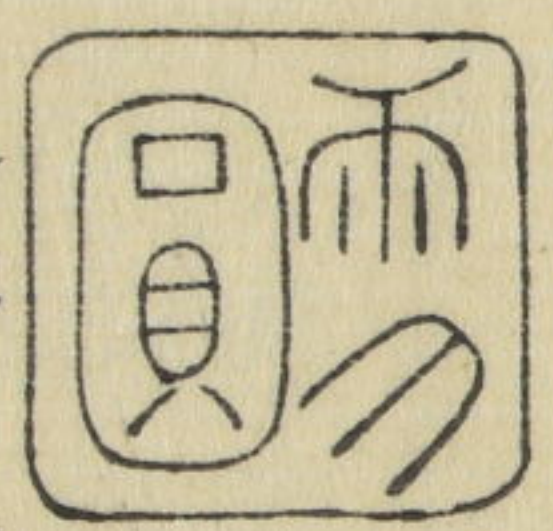


雪舟

傳記 不見

雪田

印文



生雲 公 又 雪舟 傳記 不見

生雲

生雲

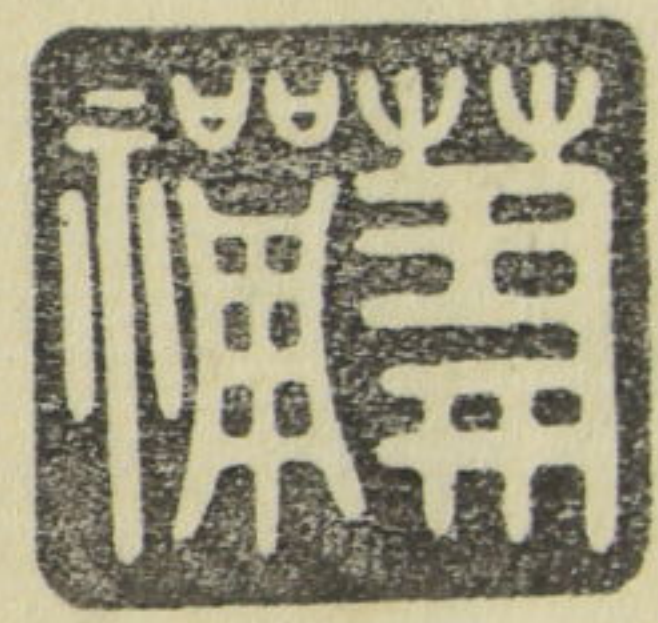
印文



等禪三世付成志しす南唐と号
 す松浦の人あり等揚と号しす
 畧お似たり時ころと名を以て
 宋を乃名を乃法と号すり

等禪

印文



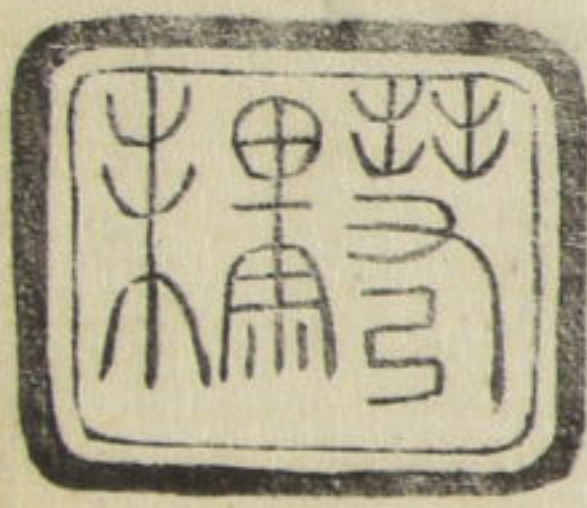
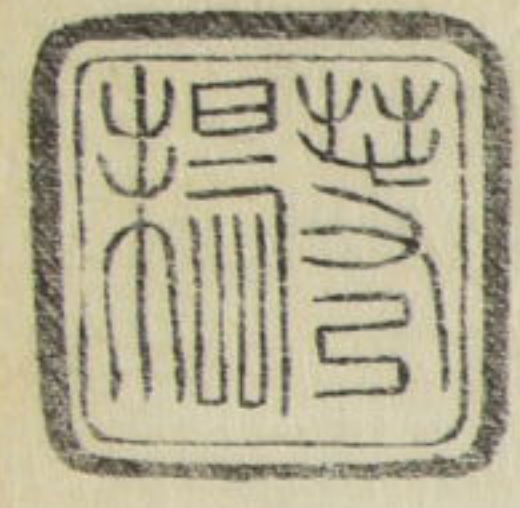
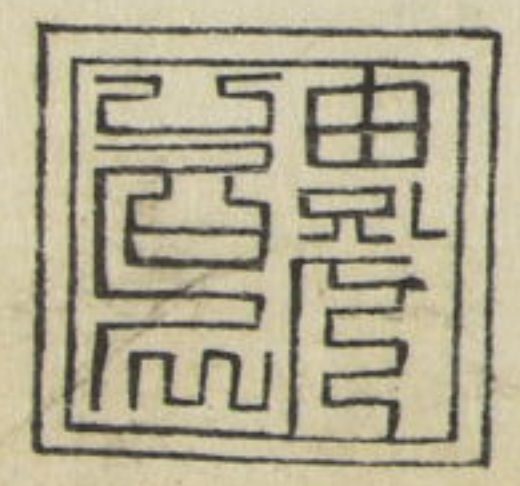
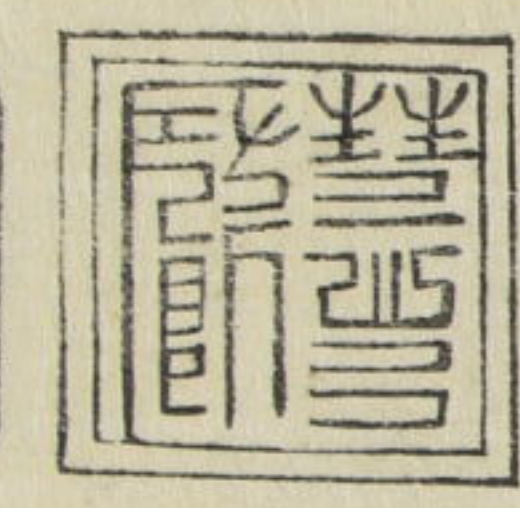
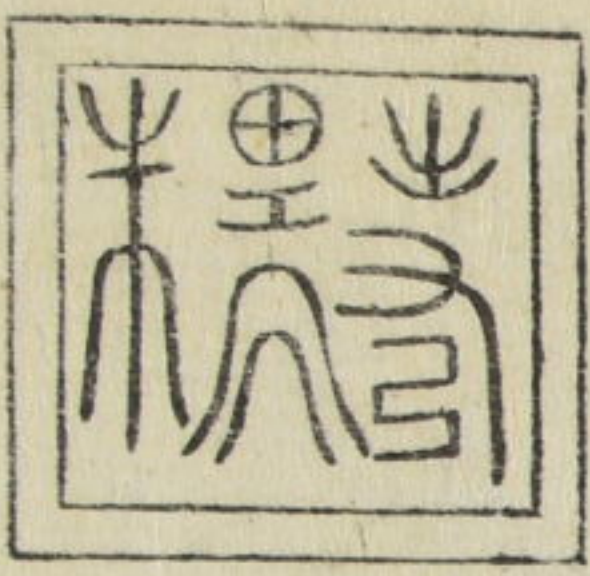
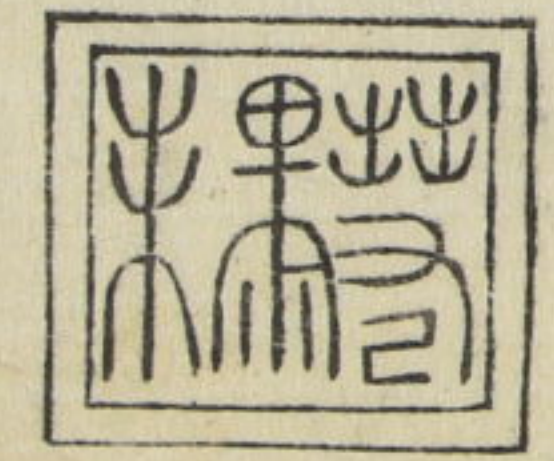
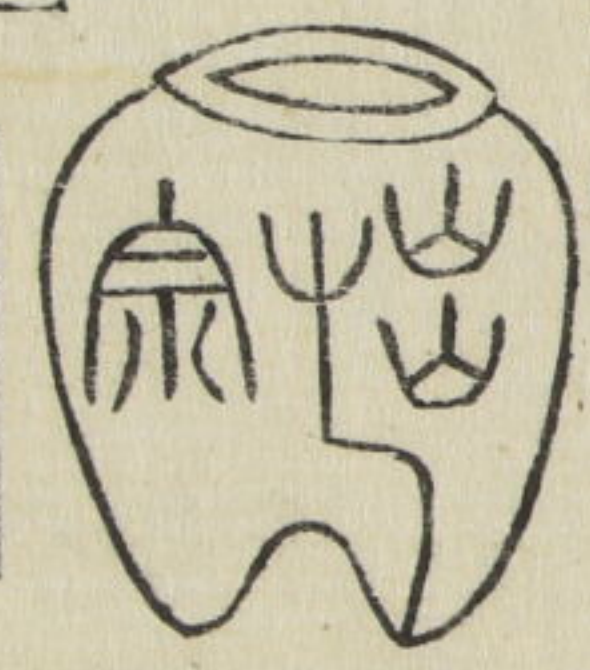
等禪百三秋月のまわり又薩州乃大
 小仕とて書とくす書母
 一秋の月等禪ふりて別ふ
 一處とすす後進たき等禪の
 親しやみ小牧雲乃まわり
 等揚益世姓とすす角の魚
 候小日本孫人等揚と書せり
 但し二平と一三等揚と云二六

松宗とてり雲魚ハ月夜とまひ
 極めと等揚ふ似たり或はり
 等揚とてりめハ揚乃字と用とく
 後揚乃字ふ及び方とありそれ
 実者と志しすけり書母門
 等乃後傑たるとれりて書
 親善紙をけり

等揚

又拙宗共

印文



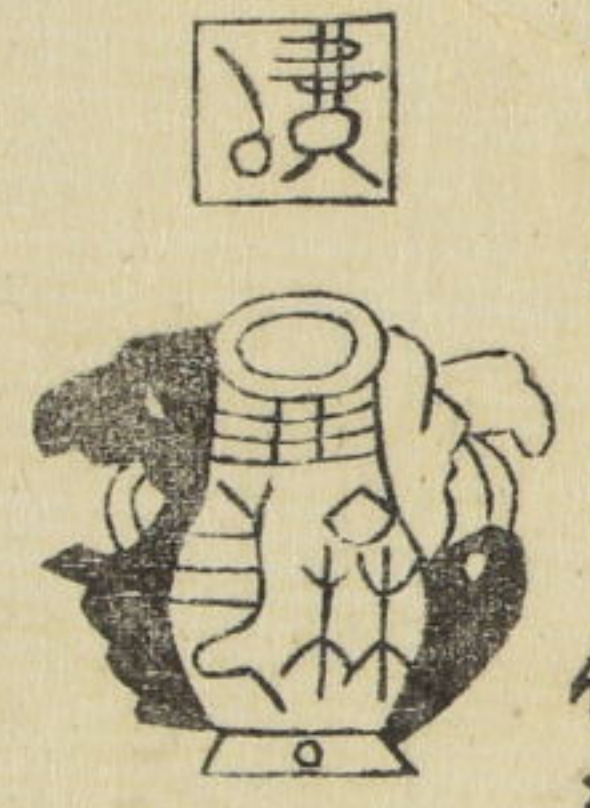
備周徳全 惟馨と号す雪亦と
 師とく益とまめふ山あり雲威
 甚なり師徳ふ似たり美林傳彩
 別矣めく無雲乃法あり傳云
 墨山あり乃墨上ふ無法乃備周良
 乃契云云云云云云云云云云云
 局以三弦事一唯西周也也
 波月名從出絶以見心者書本
 周徳所集宮王確所獲之徳
 山あり以付雪然則周徳名雪亦
 カウタイニムスルウニヨクアシノウウキツ
 雪亦人而為雪名雪後信志平

周徳
 周徳
 周徳



東法
 東法
 東法

出中
 出中
 出中



齋
 齋
 齋

雪之全
 雪之全
 雪之全



雪窓八
 雪窓八
 雪窓八



ぬきとまぬた安きくこれ徳と
 ざとせあより又東大寺釈迦の像
 松永久秀が火のこめおゆくと
 焼たされたりた安とかわり賢
 とせ仁頂と禱く補修せり
 高業中くくく仏ちふ切之を
 かり又云お列山田村れ任人
 猶爪とゆりとも

道安
印文

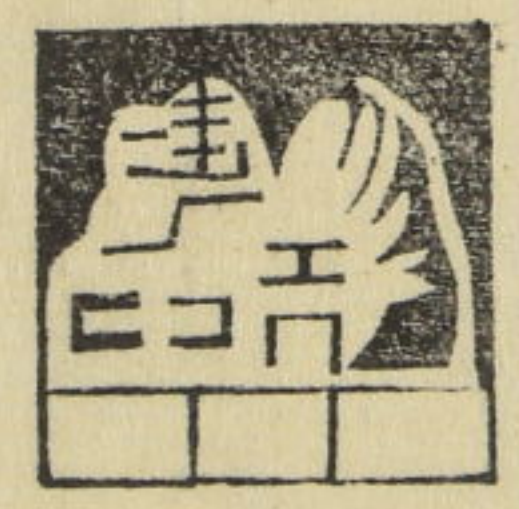
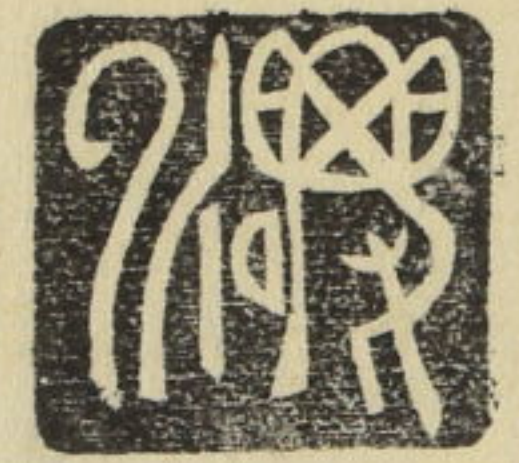
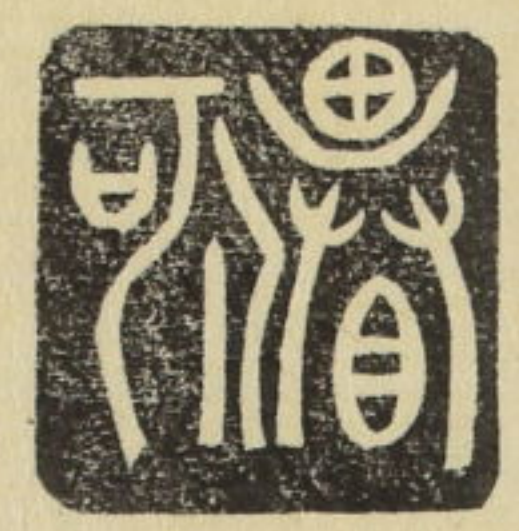
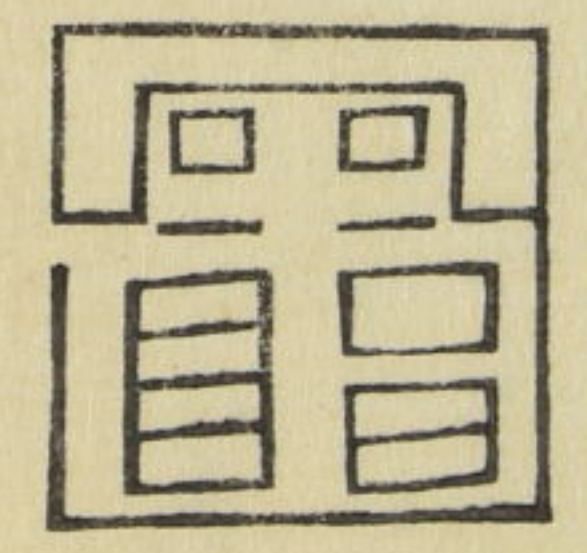
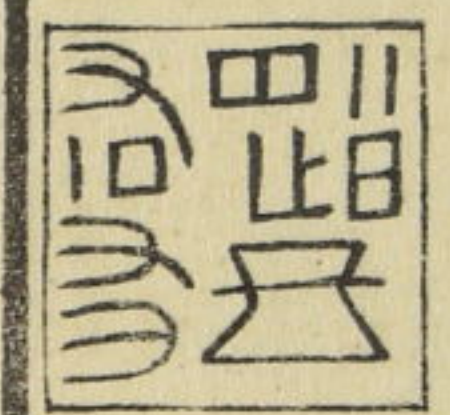
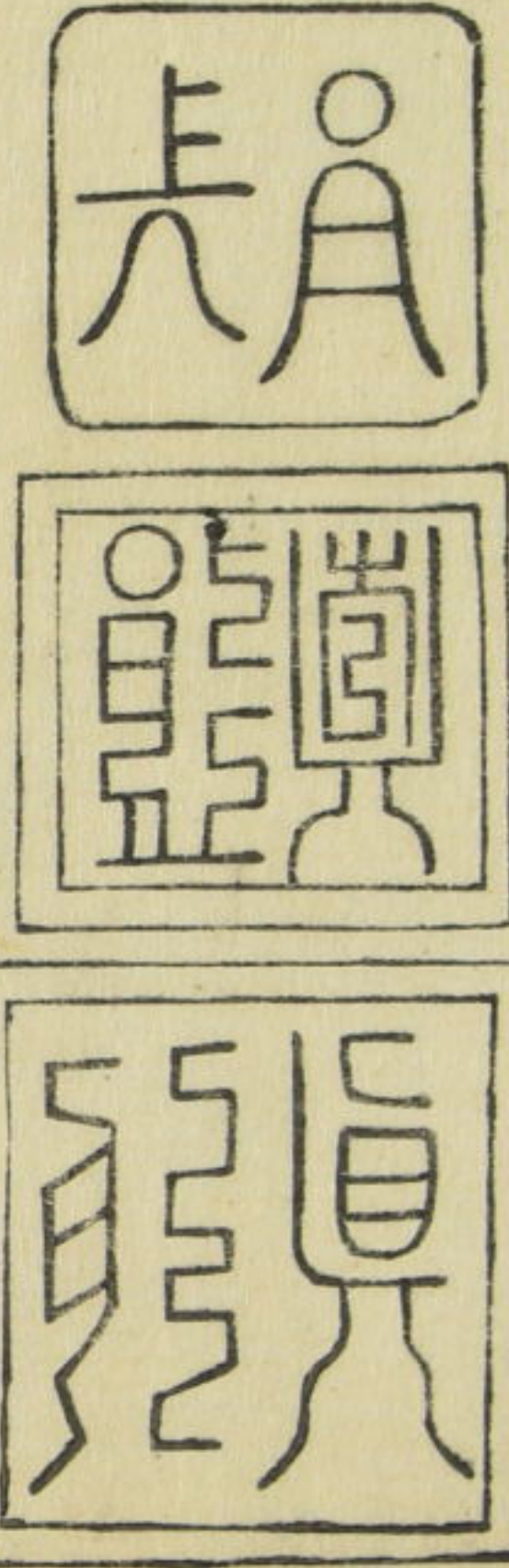
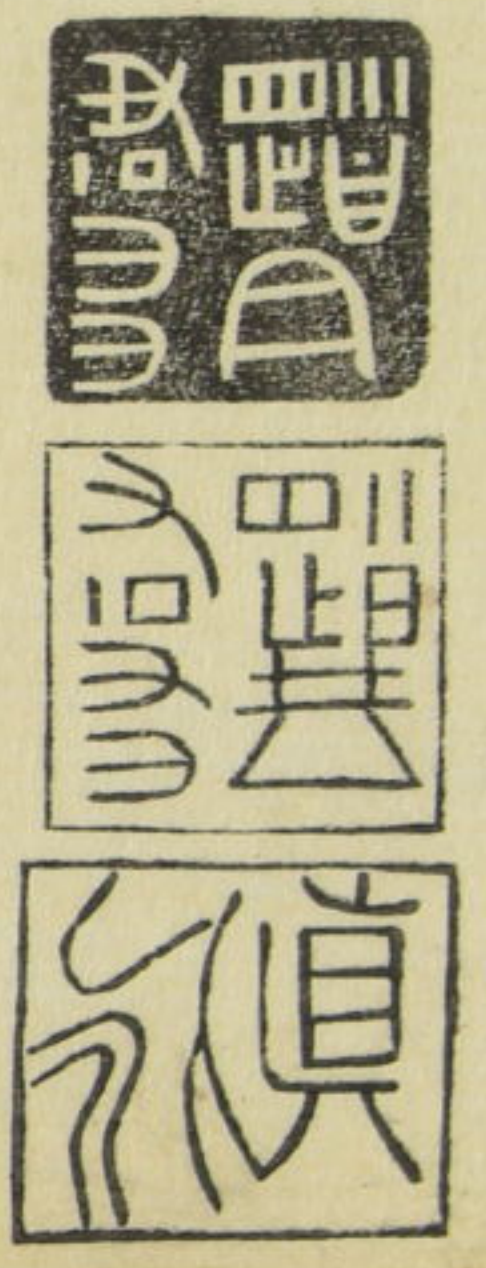


其能九三能阿保と称す云方家小
 仕く善坊とあり又坊教と号す
 又善坊教と号す平日書と能
 一私奇と三少一益法と牧

後とあるは月夜とまゝの墨戲と
 おどりの筆力健活なりと平淡と
 一世のみ筆力多しといふ中多
 く墨作石と多く又よく花鳥山
 水猿猴乃類と多しなり

真能

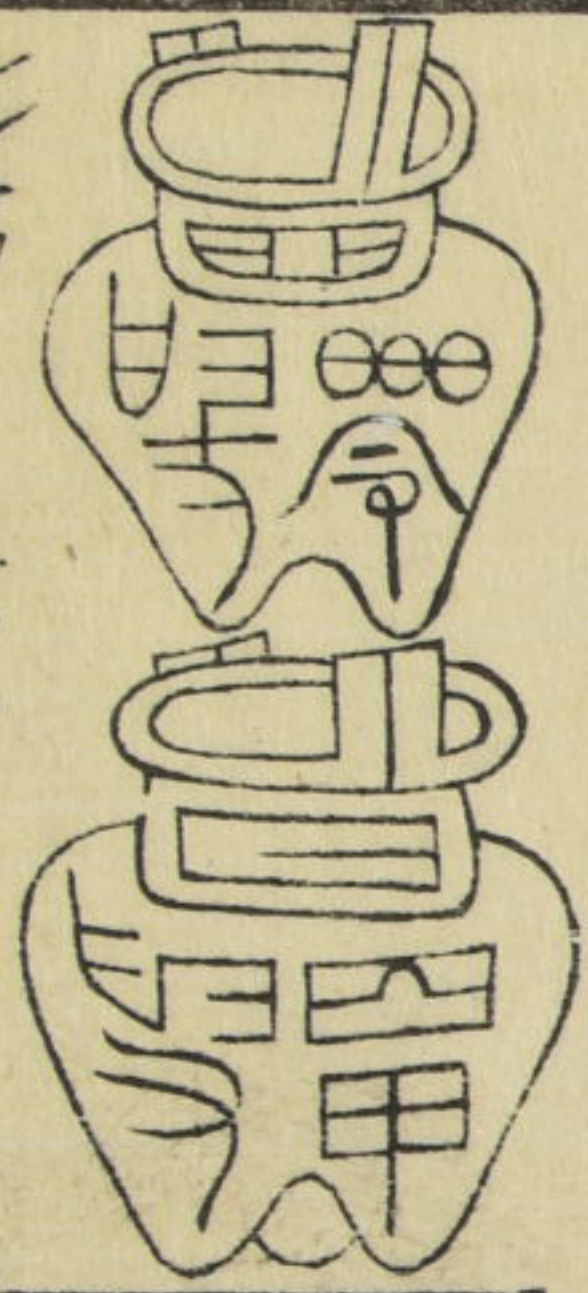
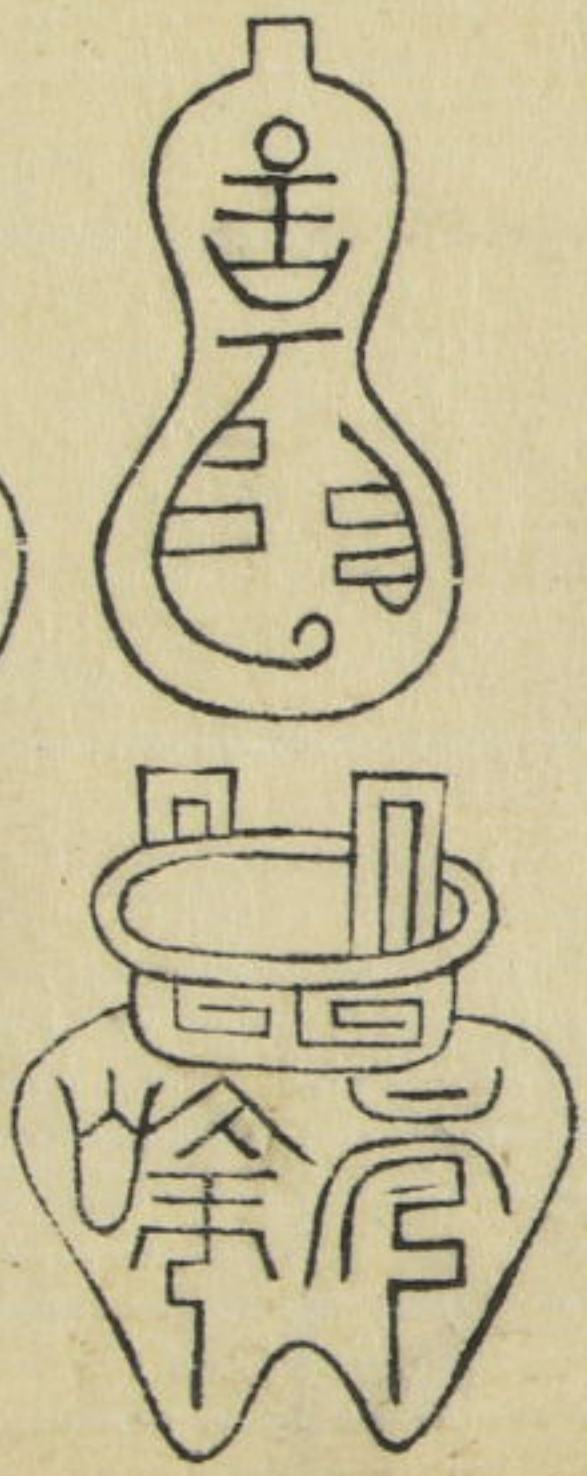
印文



真能九百 真能河孫と稱す又号
 と号す其能か子あり東山及
 坊多り傳云真能河が仙人と云
 一屋風を法能所み似く指
 奇款ありと云々

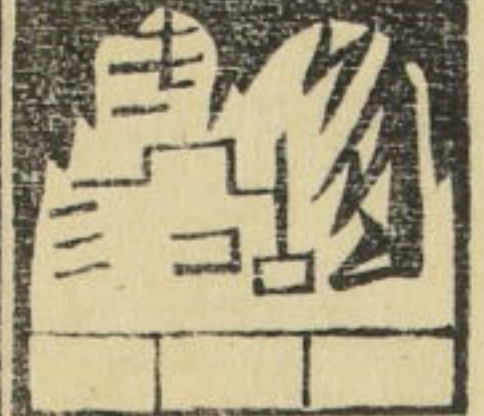
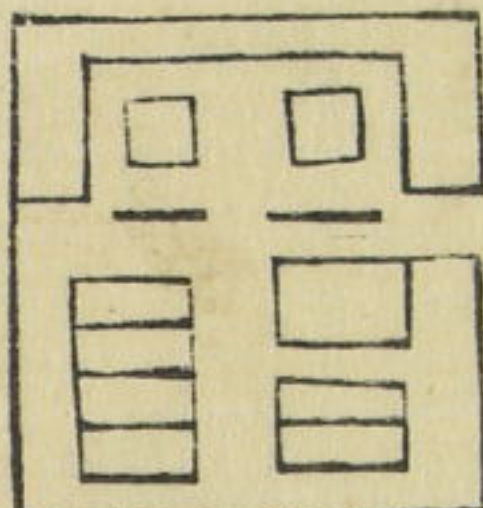
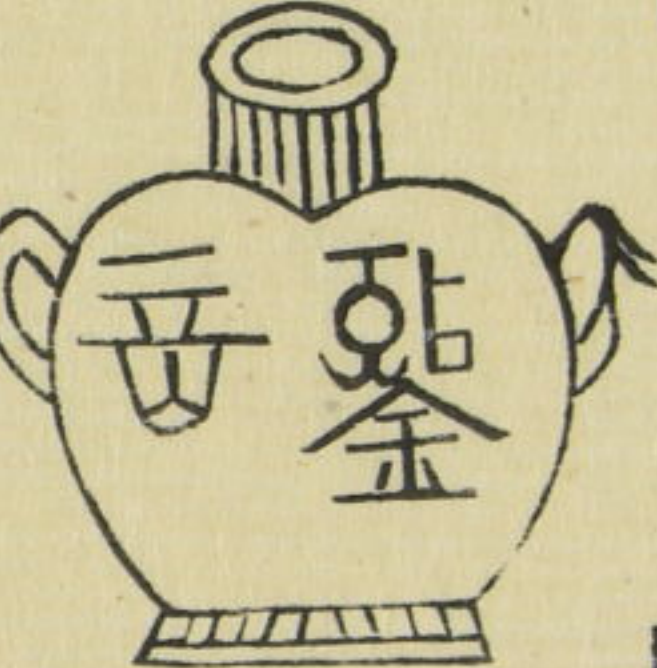
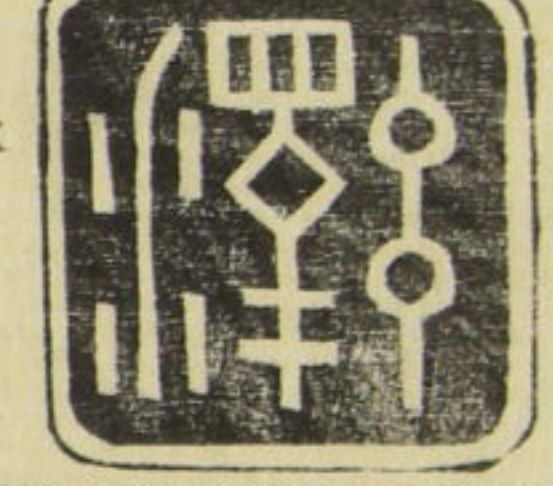
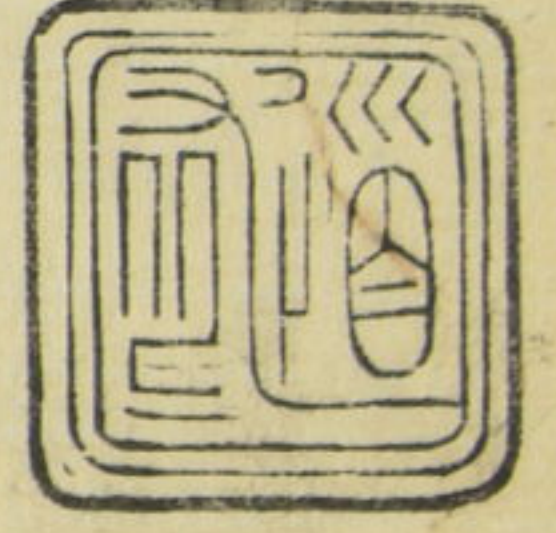
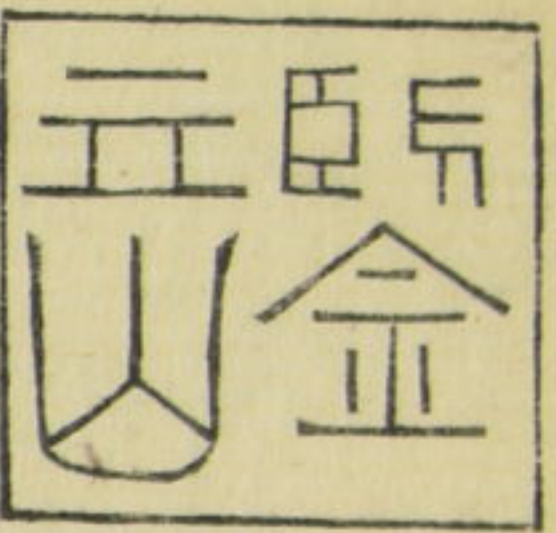
真藝

印文



真能九百 お河孫と又号
 又号

本草拾遺 卷之九



西風西風

相下

珠光シユク六姓ロクセイ歴レキと志シくす或アは日利

これ茶人チヤニン乃珠光シユクあり或ア茶湯チヤトウ書

ふりく茶人チヤニン乃珠光シユクの和列ワレツ奈良ナラの

志シ光クワウ的テキちふ十八九年ジウハチクニウシウ居キ一廿四イツシヨウ又

乃ノ志シ光クワウの在サイ新シンく云クニ茶人チヤニン小房セウボウ也

かよ能ノ何ナニがガ茶チヤ乃ノ有アル子コあり境サカイ茶

乃ノ便ニりふぬれく知チ茶チヤ紙シりリのノ茶チヤ

物モノ紙シんせく路ロれとヤセとあり

かく乃こゝに乃時先おれいゝめい
 未度へ寄付れた後よゝと度り
 後よゝめいゝめいゝめいゝめい
 こゝめいゝめいゝめいゝめい
 うゝめいゝめいゝめいゝめい
 叔美と美徳ゝめいゝめい
 益瓜三雨と美徳と時とせり
 こゝめいゝめいゝめいゝめい

小徳亮仙七 乃我氏乃族あり月あ
 と師とゝゝ山あ花も人地とゝゝ
 彩雲ぬゝめいゝめいゝめい
 筆力精あゝゝ月あ及字乃終
 先雅藝ゝめいゝめいゝめい
 文八已雲中友紙漢小徳亮仙七
 と書せるおあり又彩花も乃益
 屏風乃中紙白紙一書可竹と

云乃字かけの物これあり
 系種類 亦類と稱す世姓とゝゝ
 魚の周あ書亦とゝゝり又杜甫
 草堂乃書とゝゝりゝめいゝめい
 力も精あり初雲皮壽極ま家
 小契ゝゝ小序と書桂の月あ
 玄照居士 世姓とゝゝすゝめい
 んゝりあゝゝ教漢とゝゝりあゝ
 布袋とゝゝゝ益中ふ玄照居士
 八十七巻と書せるゝ

僧義徳 世姓とゝゝすゝめい
 不渡庵乃天林と書法同あ
 書亦ゝりあゝり書中ふ天林
 書亦乃ゝめいゝめい二百十四
 とゝゝゝ書並小契とゝゝり
 別紙書亦めゝゝ強整なるゝ

担ツク恙タラシたりヤ下カ安ヤス法ホウ鼎テイとシ記キす

これイニはニ律リツり

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

唯タラシ成セイとシ云クずス法ホウ

花ハナ葉エフとシ云クずス法ホウ

竹タケ葉エフとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

法ホウ月ツキとシ云クずス法ホウ

法ホウ月ツキとシ云クずス法ホウ

是コトり

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

像ゾウとシ云クずス法ホウ

像ゾウとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

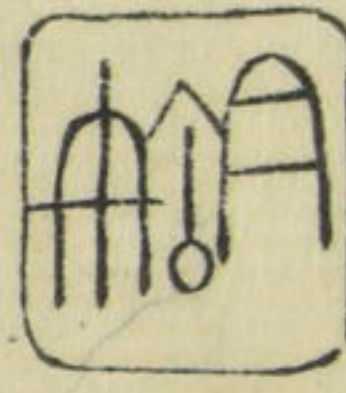
世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

世セ姓セイとシ云クずス法ホウ

傳庭莫士ハハバク月ツキ船フネと号す用紙と号す
 びくホ、アヒ船フネお似たり力チカラ茶チヤを
 てうく山あり人物モノ花ハナと号ぐく下
 ぬ小方外と書すけく一墨イツと
 又美相ミサマ小款コカウせり

印文

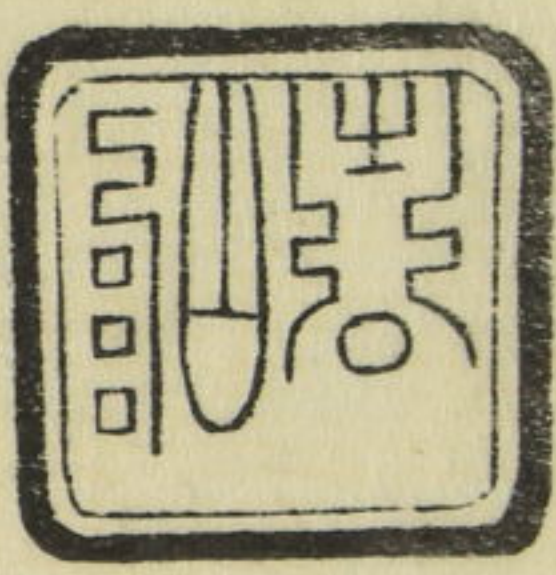
逸莫



一船イツセン系ケイ傳庭莫士ハハバクの傳ツクる

一船

印文

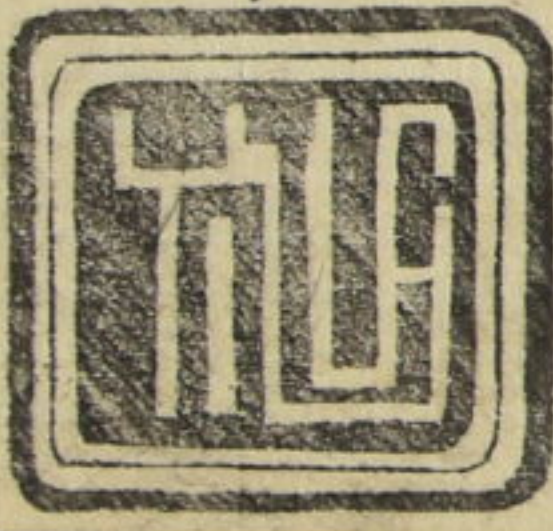


仙セン可カ世セ成セイ志シと号す用紙
 号ナメびくうく山ありと号ぐく移墨
 大ふる一昨チク附ツクふ及キりうと号
 清雅セイガ凡ボウくうくらりれり

建ケン北キツ五ゴ屋ヤ法フツ月ツキぬりせりうく
 墨イ戲タシ花ハナ名ナ紙シぬりて号す
 松ソウ溪キ大ダイ牧マク溪キと号すり又マタ氣キ麻マ丸マル肉ニク之
 と号りうく墨イ親シン名ナ紙シと号ぐ
 雪セツ江ケイ七シチ香カウ舟フネと号すり墨イ竹チク葉エフ葉エフと
 号すトウシキ花ハナ八ハチ香カウ舟フネと号すり墨イ名ナ紙シ梅ウメと
 お目メドド号す舟フネと号すり墨イ名ナ紙シ梅ウメと
 号すこれ香カウ舟フネと号すり

印文

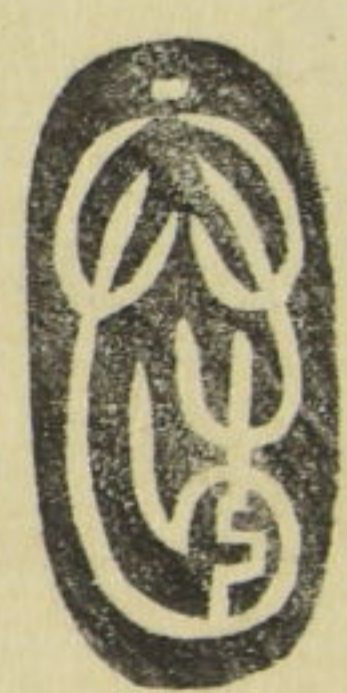
松陽下



東海トウカイ謝シャ宗ソウ下カ下カぬえ英エイと号す
 雜ザク号ガウと号ぐ

後とまづりゆく墨布袋とあぐ
御菴世一 糸法宗丹とまづり
秘藤洞あり墨花も及び
とあぐ

等あ世三 香舟とまづり
去体世三 日香村あり



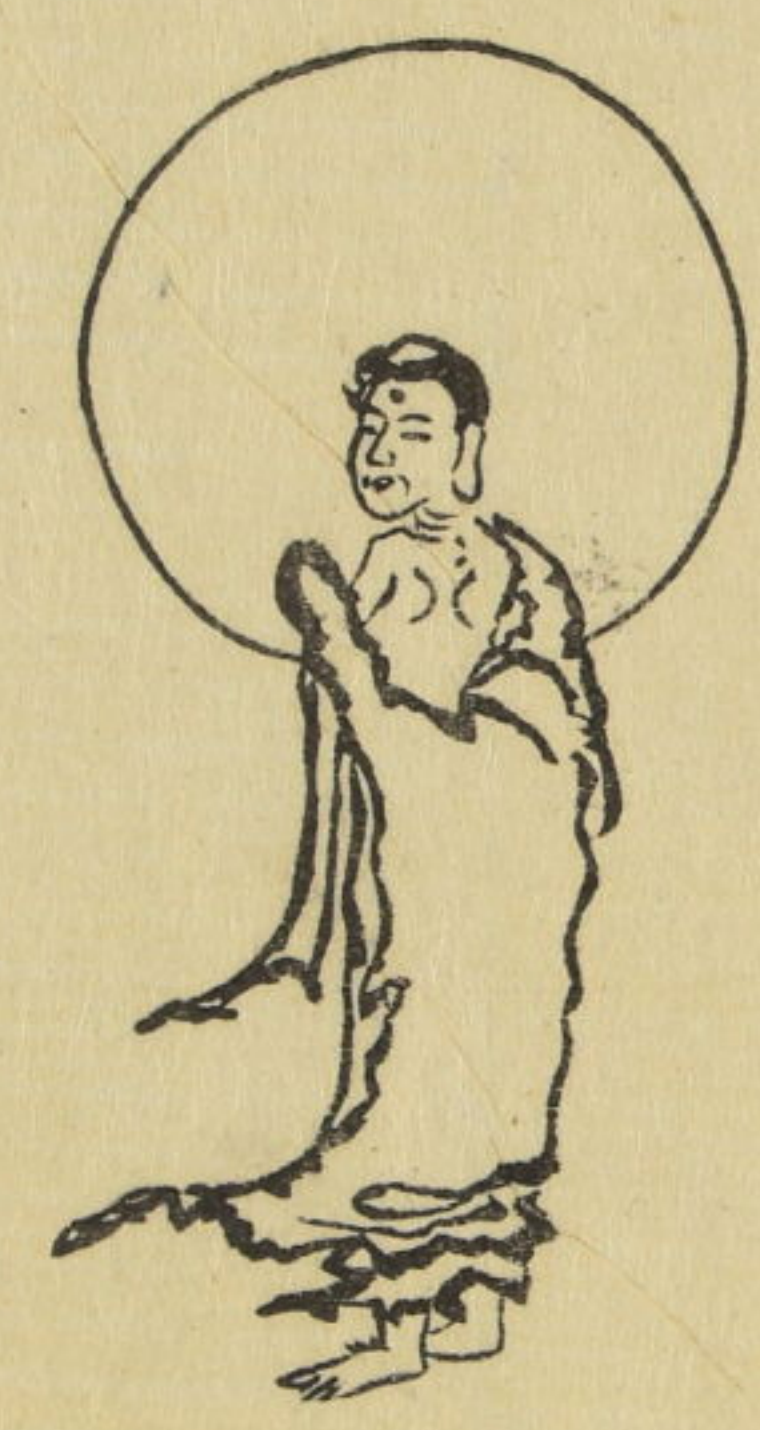
雪林 法香

超秀世二 虎行石とあぐ
ことして精骨ふり

似世二 好く彩花とあぐ
自世二 墨山とあぐ

梅世七 香舟とまづり
等傳世八 法良とあぐ

墨山水又大とあぐ



李忻世九 畫法用あり

遠世九 燈とあぐ
完山世四 宋乃世三 毛墨世二 法宗世一 とあぐ

系世三 彩飾世二 物子とあぐ

家自世四 終墨世三 花も小糸とあぐ
月世五 孫節世四 墨世三 花も好とあぐ

曹洞世四 墨世三 墨人抱とあぐ
美世三 わらり
正世四 墨世三 墨梅とあぐ

殿書記が風あり又新系小巻の
後あり新法宮舟より出く程
洞をこり

浪松四五数候とまづり候く雲葉
汎菰はあぐく

源重船興月奉と号す何伴合と

又玉洞とあづり候く雲山と
あぐく或ハ雲乃枯本小居り雲を

羽毛細く候く云彼が風候り
とあづり候く

後小日候又後下源重船興と号す
た素四二音

衆指可新用又より出くま
家親四二音

とあづり又毛可新用又より出

道契四九 仙女とあぐく新法用又号
舟より出り

守拙乃人 手用又とまづり雲親
とあぐく

富五二 用又号舟とまづり雲親
卒國あり候大衆力を洞より

如寄五二 姓氏とあづりす標屋也
号す屋後小大船子一衆宗

又新と人丸乃像と号す雲葉
とあづり候く

考く云人物とあぐく小人丸乃像
ありと新法宮舟とあづり物

これとあづり候く大船乃人号舟
と号す

と号す

と号す

如^ニ建^ニ五^ニ三^ニ川^ノ之^ノ用^ニ及^ニ也^ノま^ニび^ニう^ニ山^ノ

あ^ニと^ニあ^ニが^ニけ^ニり

乃^レ徳^トと^ニあ^ニが^ニけ^ニり

偽^ニ周^ノ位^ニ盡^ニ天^ノ終^ニも^ニふ^ニる^ニま^ニく^ニ爰^ノ隠^ニ

國^ノ師^ノ乃^レ侍^ニ老^ニく^ニり^ニ益^ニと^ニ好^ニめ^ニり^ニ又^ニ乃^レ

誼^ノ乃^レ後^ニあり^ニ亦^ニく^ニ小^ニを^ニ爰^ノ隠^ニ國^ノ師^ノ乃^レ

偽^ニ周^ノ家^ノ四^ノ爰^ノ隠^ニと^ニ日^ノ時^ノあり^ニま^ニく^ニ益^ニ大^ニ

之^ノ秩^ニ每^ニ小^ニ似^ニり^ニ

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

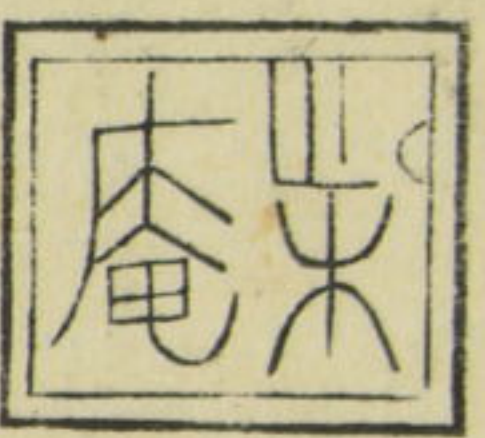
乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

乃^レ物^ノ麻^ノ面^ノ多^ク

たしり^{ホクハツケイ}八系^{ハツケイ}乃^ノ比^ヒ板板^{イタ}乃^ノ枝^エ
と^ト急^{キウ}く^クく^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^ク

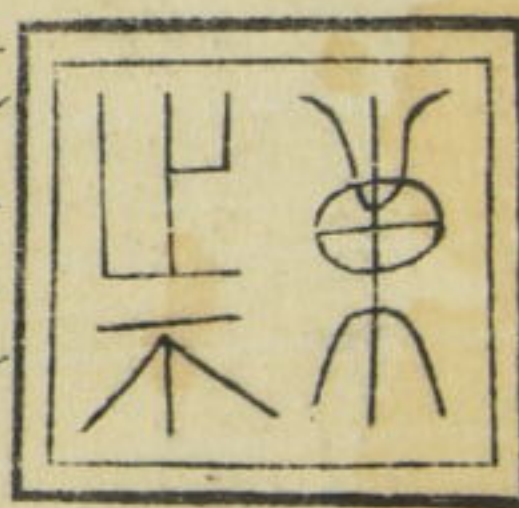
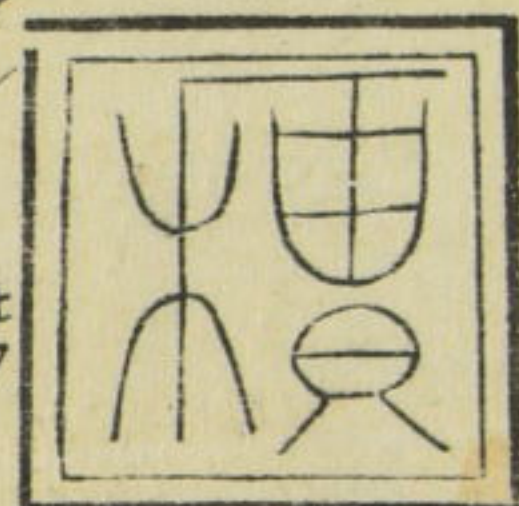
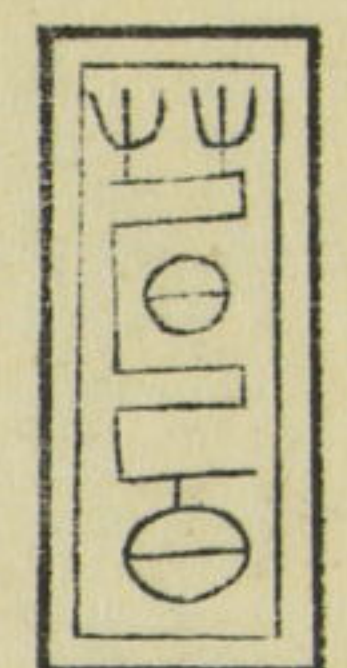
柴菴

印文



康^{カウ}西^{セイ}堂^{ドウ}三^{サン} 漢^{カン}余^ヨ建^{ケン}長^{チャウ}子^シ 傳^{デン}乃^ノ

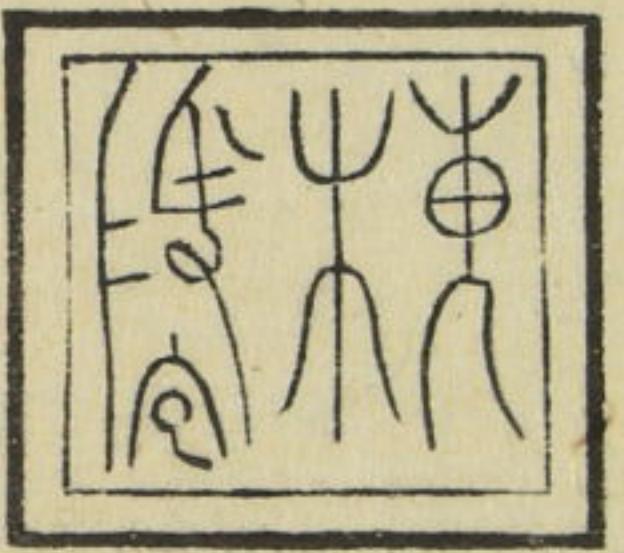
印文



可^カト^ト三^{サン} 株^ケ根^{ケン}子^シと^ト株^ケす^ス 建^{ケン}長^{チャウ}子^シの^ノ
傳^{デン}乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす

可ト

印文



系系康
西堂三病

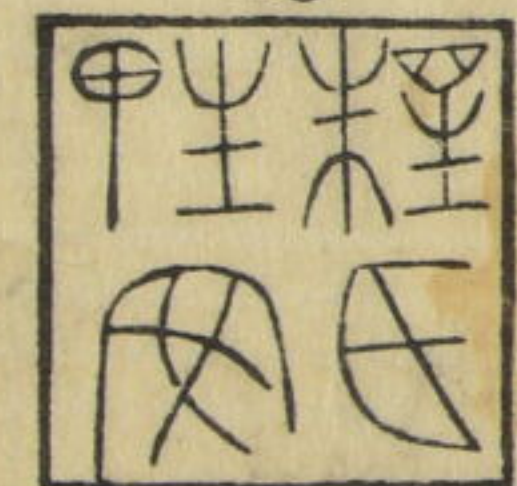
南^ホ舟^{シウ}益^{イキ}壽^{シウ}む^ム人^{ジン}と^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^ク
舟^{シウ}と^ト急^{キウ}く^クく^ク乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす



等^{トウ}叔^{ホク}五^ゴ不^フ動^{ドウ}と^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^ク
未^{ボク}弟^{テイ}乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす

持^チ木^{ホク}三^{サン} 系^{ケイ}系^{ケイ}可^カト^ト 小^コ弟^{テイ}乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす
性^{セイ}安^{アン} 系^{ケイ}系^{ケイ}持^チ木^{ホク}乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす
常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす

性安印文



宗^{ソウ}珊^{サン}三^{サン} 著^{シヨク}賢^{ケン}像^{ゾウ}と^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^クと^ト急^{キウ}く^クく^ク
夏^ゲ唐^{トウ}原^{ゲン}智^チ光^{クワウ}乃^ノ比^ヒ小^コ常^{ジョウ}列^{リョク}水^{スイ}戸^コ小^コ恒^コす

徳獲と云く毎景を上小登成
くふ牧溪乃手製と云べり
希無福雲山と云く玉洞
乃手風と云べり
岩村九音人丸乃像と云く宗法用
多音舟乃風格あり
雪勝九音雜色と云く
急原九音墨報と云く牧溪派
と云べり
お燈九音雜色と云く
石籠九音雲在磨乃像並小雜色
と云く
大集九音三教乃像と云く雲を
兼意啟書記あり
信去九音南於小恒守世々表目の
終所たりけし仁徳の忠あり

雜色並小花を小長す雲戲
牧溪ありあり書意能お小似
より在柔潤ありあり深魚鳥
又可なり
文孫九音畫と云く文孫の
字々ありあり
昌安九音杯渡和尚と云く彩色
秀潤ありあり色相ありあり
傍智九音墨法徳と云くありあり
越と云べり
郭後九音墨と云くて雜色と云く
永信九音墨梅と云く
細川久之九音阿波乃産之細川
頼義又世乃孫ありあり和奇
と云く墨と云くむ永正八年九月
十二日卒と云く法乃偉乃大川

